

令和 5 年 度

事業概要

人間を救うのは、人間だ。



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

秋田県支部

日本赤十字社ミッションステートメント

(Mission statement)

日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの基本原則にしたがって行動します。

人 道：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努めます。

公 平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。

中 立：すべての人の信頼を得て活動するため、いっさいの争いに加わりません。

独 立：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。

奉 仕：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。

単 一：国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。

世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、互いの力を合わせて行動します。

わたしたちの決意

わたしたちは、赤十字運動の担い手として、
人道の実現のために、
利己心と闘い、無関心に陥ることなく、
人の痛みや苦しみに目を向け、
常に想像力をもって行動します。

この事業概要は、令和５年４月１日から令和６年３月３１日までの業務
などについて収録した。

目 次

1	役員等	1
2	評議員会・監査等	3
3	地区・分区関係	4
4	活動資金の収納状況	6
5	国際活動	9
6	災害救護事業等	10
7	救急法・健康生活支援講習等の普及	26
8	赤十字奉仕団等	38
9	青少年赤十字（J R C）	60
10	広報・普及活動	65
資料	令和５年度日本赤十字社秋田県支部歳入歳出決算概要	67
11	医療事業	68
12	血液事業	73
13	乳児院の運営	79
資料	令和５年度秋田赤十字乳児院歳入歳出決算概要	81
14	日本赤十字社秋田県支部現勢	82

1 役 員 等

(令和6年3月31日現在)

1 支部役員・本社理事並びに代議員

役 職 名	氏 名
支 部 長	佐 竹 敬 久
副 支 部 長	神 部 秀 行
	穂 積 志
監 査 委 員	新 谷 明 弘
	伊 藤 新
理事・代議員	野 口 良 孝
代 議 員	三 戸 俊 彦
	江 畑 佳 明
	高 橋 トモ子

2 評議員

地 区 別	氏 名
鹿 角 市	石 井 勲
大 館 市	日 景 隆
	佐 藤 かよ子
北 秋 田 市	津 谷 永 光
能 代 市	齊 藤 滋 宣
男 鹿 市	菅 原 広 二
潟 上 市	鈴 木 雄 大
秋 田 市	野 口 良 孝
	黒 崎 義 雄
	渡 邊 達 夫
	加 藤 長二郎
	西 野 清
由利本荘市	湊 貴 信
	三 浦 徳 久
にかほ市	佐 藤 耕 一
大 仙 市	今 野 功 成
	高 橋 トモ子
仙 北 市	田 口 知 明
横 手 市	高 橋 大
	小 野 タヅ子
湯 沢 市	佐 藤 一 夫
北	細 越 満
山 本	堀 内 満 也
中 央	高 橋 浩 人
南	備 前 博 和
支部長選出	小 玉 喜久子
	三 戸 俊 彦
	江 畑 佳 明
	田 口 昇

3 赤十字奉仕団秋田県支部委員会委員

(令和6年3月31日現在)

役職名	氏 名	所属奉仕団	選 出 区 分
委 員 長	中 嶋 洋 子	北秋田市鷹巣赤十字奉仕団	地域奉仕団委員長
副委員長	齊 藤 正 子	能代市二ツ井町赤十字奉仕団	
	佐 竹 睦 子	秋田市赤十字奉仕団	
	高 橋 トモ子	大仙市中仙赤十字奉仕団	
	八 代 千 春	秋田県赤十字災害救護奉仕団	特殊奉仕団委員長
委 員	嶋 田 陽 子	横手市赤十字奉仕団	地域奉仕団委員長
	佐 藤 明 子	大館市大館赤十字奉仕団	
	吉 田 萬里子	男鹿市赤十字奉仕団	
	北 村 ルミ子	湯沢市赤十字奉仕団	
	柳 沢 愛 子	鹿角市赤十字奉仕団	
	鈴 木 とみ子	由利本荘市岩城赤十字奉仕団	
	小 玉 喜久子	潟上市赤十字奉仕団	
	村 上 和 美	にかほ市仁賀保赤十字奉仕団	
	赤 川 和 子	仙北市角館町赤十字奉仕団	
	伊 藤 明 美	上小阿仁村赤十字奉仕団	
	近 藤 きぬ子	三種町山本赤十字奉仕団	
	片 野 みとる	井川町赤十字奉仕団	
	森 元 博 美	美郷町赤十字奉仕団	
	鈴 木 敦 子	秋田県点訳赤十字奉仕団	特殊奉仕団委員長
	小 野 敏実都	秋田県赤十字芸能奉仕団	
	石 川 和 男	秋田県アマチュア無線赤十字奉仕団	
	三 森 幹 男	秋田県赤十字水上安全法奉仕団	
	田 口 昇	秋田県赤十字救急法奉仕団	
	眞井田 恭 雄	秋田県青少年赤十字賛助奉仕団	
	三 浦 泰 輔	秋田県青年赤十字奉仕団	県青年奉仕団連絡協議会長

2 評議員会・監査

1 評議員会

評議員会を次のとおり実施した。

(1) 第1回目

期 日 6月1日

会 場 ホテルメトロポリタン秋田 3階「グランデB」

出席評議員 15人

報告事項

- ・令和4年度医療施設特別会計歳入歳出補正予算
- ・令和4年度社会福祉施設特別会計歳入歳出補正予算
- ・令和4年度事業報告

審 議

- ・議案第1号 令和4年度一般会計歳入歳出決算
- ・議案第2号 令和4年度医療施設特別会計歳入歳出決算
- ・議案第3号 令和4年度社会福祉施設特別会計歳入歳出決算監査報告
- ・議案第4号 監査委員の選出

※議案第1号から議案第3号まで原案どおり承認された。

※議案第4号、監査委員の選出については、新谷 明弘氏が再選された。

(2) 第2回目

期 日 3月5日

会 場 秋田赤十字病院 2階「多目的ホール」

出席評議員 12人

審 議

- ・議案第1号 令和6年度事業計画
- ・議案第2号 令和6年度一般会計歳入歳出予算
- ・議案第3号 令和6年度医療施設特別会計歳入歳出予算
- ・議案第4号 令和6年度社会福祉施設特別会計歳入歳出予算

※議案第1号から議案第4号まで原案どおり承認された。

報告事項

- ・「災害対応 この1年を振り返って」

2 監査

(1) 監査委員監査

監査対象施設	期 日	場 所	監 査 者
支 部	5月31日	秋田県社会福祉会館 9階第2会議室	支部監査委員
病 院			
血液センター			
乳 児 院			

(2) 財政的援助団体監査

調査対象施設	期 日	場 所	調 査 者
病 院	12月8日	秋田赤十字病院 多目的ホール	秋田県監査委員
乳 児 院			

3 地区・分区関係

1 地区・分区の概況

(令和6年3月31日現在)

地区・分区名	地区・分区長名	行政職名等	市町村における赤十字担当課等	
			名 称	電話番号
秋 田 市	穂 積 志	市 長	福祉総務課	018-888-5661
能 代 市	齊 藤 滋 宣	市 長	社会福祉協議会	0185-52-3335
横 手 市	高 橋 大	市 長	社会福祉課	0182-35-2132
大 館 市	福 原 淳 嗣	市 長	福祉課	0186-42-8100
男 鹿 市	菅 原 広 二	市 長	社会福祉協議会	0185-23-2772
湯 沢 市	佐 藤 一 夫	市 長	福祉課	0183-73-2122
鹿 角 市	関 厚	市 長	社会福祉協議会	0186-23-2165
由利本荘市	湊 貴 信	市 長	福祉支援課	0184-24-6315
潟 上 市	鈴 木 雄 大	市 長	社会福祉課	018-853-5314
大 仙 市	老 松 博 行	市 長	社会福祉課	0187-63-1111
北 秋 田 市	津 谷 永 光	市 長	福祉課	0186-62-6637
に か ほ 市	市 川 雄 次	市 長	社会福祉協議会	0184-43-2543
仙 北 市	田 口 知 明	市 長	社会福祉協議会	0187-54-2493
小 坂 町	細 越 満	町 長	福祉課	0186-29-3925
上小阿仁村	小 林 悦 次	村 長	社会福祉協議会	0186-77-3057
藤 里 町	佐々木 文 明	町 長	社会福祉協議会	0185-79-2848
三 種 町	田 川 政 幸	町 長	福祉課	0185-85-2190
八 峰 町	堀 内 満 也	町 長	福祉保健課	0185-76-4608
五 城 目 町	渡 邊 彦兵衛	町 長	社会福祉協議会	018-852-5192
八 郎 潟 町	畠 山 菊 夫	町 長	社会福祉協議会	018-875-3871
井 川 町	齋 藤 多 聞	町 長	社会福祉協議会	018-874-2611
大 潟 村	高 橋 浩 人	村 長	社会福祉協議会	0185-45-2840
美 郷 町	松 田 知 己	町 長	福祉保健課	0187-84-4907
羽 後 町	安 藤 豊	町 長	社会福祉協議会	0183-62-5313
東 成 瀬 村	備 前 博 和	村 長	社会福祉協議会	0182-47-2700
北	船 山 晴 美	北福祉事務所長	企画福祉課	0186-52-3955
山 本	吉 田 浩 二	山本福祉事務所長	企画福祉課	0185-55-8023
中 央	町 本 修一郎	中央福祉事務所長	企画福祉課	018-855-5171
南	新 田 清 季	南福祉事務所長	企画福祉課	0182-32-3294

2 地区・分区関係会議等

(1) 事務担当者会議

期 日 4 月 13 日
会 場 秋田県社会福祉会館 10 階大会議室
出席者数 43 人
議 題 等 ・ 令和 4 年度事業報告
・ 令和 5 年度事業計画
・ 赤十字会員増強運動について

(2) 新人事務担当者研修会

期 日 8 月 24 日
会 場 秋田県社会福祉会館 9 階第 4 会議室
出席者数 12 人

(3) 事業実態調査

期 日 11 月～12 月
対 象 男鹿市地区、由利本荘市地区、潟上市地区、にかほ市地区
五城目町分区、八郎潟町分区、井川町分区、大潟村分区
会 場 各地区・分区

4 活動資金の収納状況

1 一般活動資金

(1) 会員数（協力会員を含む）及び活動資金額前年度実績比較

区 分		会 員 数			活 動 資 金 額		
		4年度実績 人	5年度実績 人	増 減 人	4年度実績 円	5年度実績 円	増 減 円
1	秋 田 市	17,720	15,389	△ 2,331	23,082,799	22,673,785	△ 409,014
2	能 代 市	5,021	4,315	△ 706	5,711,840	5,631,540	△ 80,300
3	横 手 市	12,519	11,727	△ 792	12,464,010	12,221,060	△ 242,950
4	大 館 市	7,833	7,387	△ 446	6,517,975	6,157,647	△ 360,328
5	男 鹿 市	8,420	8,173	△ 247	5,819,050	5,661,500	△ 157,550
6	湯 沢 市	12,683	12,604	△ 79	6,342,275	6,302,803	△ 39,472
7	鹿 角 市	8,142	7,935	△ 207	4,291,100	4,134,550	△ 156,550
8	由利本荘市	18,179	17,621	△ 558	13,501,310	13,257,690	△ 243,620
9	潟 上 市	2,689	1,950	△ 739	3,755,200	3,416,000	△ 339,200
10	大 仙 市	17,321	16,650	△ 671	13,207,506	12,780,570	△ 426,936
11	北 秋 田 市	7,856	7,688	△ 168	6,191,600	6,063,550	△ 128,050
12	にかほ市	6,168	6,076	△ 92	4,970,000	4,913,100	△ 56,900
13	仙 北 市	6,496	6,433	△ 63	5,079,559	5,017,212	△ 62,347
14	小 坂 町	1,739	1,642	△ 97	1,146,400	1,078,300	△ 68,100
15	上小阿仁村	622	607	△ 15	496,000	484,200	△ 11,800
16	藤 里 町	1,022	1,009	△ 13	752,800	743,000	△ 9,800
17	三 種 町	3,399	3,180	△ 219	2,976,400	2,819,400	△ 157,000
18	八 峰 町	2,378	2,351	△ 27	1,652,700	1,646,400	△ 6,300
19	五 城 目 町	2,783	2,703	△ 80	2,255,400	2,188,408	△ 66,992
20	八 郎 潟 町	1,761	1,724	△ 37	1,344,400	1,310,650	△ 33,750
21	井 川 町	1,255	1,237	△ 18	917,300	890,702	△ 26,598
22	大 潟 村	820	809	△ 11	594,200	607,001	12,801
23	美 郷 町	4,663	4,627	△ 36	4,602,910	4,565,000	△ 37,910
24	羽 後 町	4,089	4,070	△ 19	2,670,480	2,595,330	△ 75,150
25	東 成 瀬 村	709	702	△ 7	698,550	698,350	△ 200
	本社口座振替	45	45	0	840,000	826,000	△ 14,000
	計	156,332	148,654	△ 7,678	131,881,764	128,683,748	△ 3,198,016
	支 部 扱	1,158	1,271	113	13,025,775	10,557,287	△ 2,468,488
総	計	157,490	149,925	△ 7,565	144,907,539	139,241,035	△ 5,666,504

(2) 会員数 (協力会員含む) 及び活動資金額実績

区 分	会 員 数 等			寄付 件数	活 動 資 金 額					
	目 標 会員数 (A) 人	5年度 実 績 (B) 人	千円以上 会員実績 (C) 人		C／B %	目 標 額 (D) 円	会 費 (E) 円	寄 付 金 (F) 円	活動資金 実 績 (E+F) 円	平均会費額 (E/B)円
1 秋 田 市	17,360	15,389	3,493	23	12,150	24,147,600	12,407,797	10,265,988	22,673,785	806
2 能 代 市	5,525	4,315	134	3	293	6,097,400	2,382,800	3,248,740	5,631,540	552
3 横 手 市	14,022	11,727	369	3	340	13,001,500	8,388,200	3,832,860	12,221,060	715
4 大 館 市	9,000	7,387	700	9	206	7,315,600	4,276,200	1,881,447	6,157,647	579
5 男 鹿 市	8,633	8,173	722	8	2	6,113,100	5,660,000	1500	5,661,500	693
6 湯 沢 市	12,390	12,604	0	0	0	6,414,700	6,302,803	0	6,302,803	500
7 鹿 角 市	8,188	7,935	317	4	0	4,466,200	4,134,550	0	4,134,550	521
8 由利本荘市	18,853	17,621	1,675	10	525	13,897,900	12,780,700	476,990	13,257,690	725
9 潟 上 市	3,387	1,950	14	1	67	4,087,800	1,013,600	2,402,400	3,416,000	520
10 大 仙 市	18,770	16,650	5,711	34	355	14,002,300	12,173,700	606,870	12,780,570	731
11 北 秋 田 市	8,500	7,688	3,068	40	75	6,490,700	6,048,200	15,350	6,063,550	787
12 にかほ市	7,150	6,076	11	0	975	5,078,200	4,232,800	680,300	4,913,100	697
13 仙 北 市	6,742	6,433	2,756	43	59	5,368,800	5,003,302	13,910	5,017,212	778
14 小 坂 町	1,833	1,642	53	3	43	1,182,100	1,065,400	12,900	1,078,300	649
15 上小阿仁村	649	607	213	35	0	543,900	484,200	0	484,200	798
16 藤 里 町	1,030	1,009	108	11	0	786,000	743,000	0	743,000	736
17 三 種 町	3,624	3,180	2,034	64	89	3,210,900	2,792,700	26,700	2,819,400	878
18 八 峰 町	2,470	2,351	2	0	1	1,726,900	1,646,300	100	1,646,400	700
19 五 城 目 町	2,882	2,703	7	0	57	2,305,100	2,162,200	26,208	2,188,408	800
20 八 郎 潟 町	1,847	1,724	80	5	0	1,422,500	1,310,650	0	1,310,650	760
21 井 川 町	1,300	1,237	172	14	0	932,500	890,702	0	890,702	720
22 大 潟 村	811	809	29	4	3	592,000	587,000	20001	607,001	726
23 美 郷 町	4,781	4,627	4,479	97	10	4,745,100	4,563,500	1,500	4,565,000	986
24 羽 後 町	4,100	4,070	0	0	0	2,794,300	2,595,330	0	2,595,330	638
25 東 成 瀬 村	730	702	626	89	0	724,300	698,350	0	698,350	995
本社口座振替	0	45	45	100	1	0	706,000	120,000	826,000	15,689
計	164,577	148,654	26,818	18	15,251	137,447,400	105,049,984	23,633,764	128,683,748	707
支 部 扱	0	1,271	995	78	39	0	6,816,269	3,741,018	10,557,287	5,363
総 計	164,577	149,925	27,813	19	15,290	137,447,400	111,866,253	27,374,782	139,241,035	746

2 法人活動資金（指定寄付金含む）

協力法人数 社	活動資金額 円	内 訳		
		金 額 円	法 人 数 社	割 合 %
640	31, 310, 879	100万円以上	6	0. 94
		50万円以上	5	0. 78
		20万円以上	7	1. 09
		10万円以上	12	1. 88
		5万円以上	32	5. 00
		3万円以上	271	42. 34
		1万円以上	262	40. 94
		1万円未満	45	7. 03

3 過去5年間の活動資金並びに会員数（協力会員含む）の推移

（１）一般活動資金（個人指定寄付金含む）

年度別	収納実績 円	前年度比 %	会 員 数 人	前年度比 %
元	151, 465, 193	101. 2	169, 182	96. 5
2	153, 249, 956	101	163, 645	96. 7
3	149, 502, 075	97. 5	162, 582	99. 3
4	144, 907, 539	96. 9	157, 490	96. 8
5	139, 241, 035	96	149, 925	95. 1

（２）法人活動資金（指定寄付金含む）

年度別	収納実績 円	前年度比 %	会 員 数 人	前年度比 %
元	20, 926, 342	103. 8	746	106. 7
2	18, 627, 171	89	678	90. 8
3	23, 489, 749	126. 1	624	92. 0
4	19, 903, 698	84. 7	664	106. 4
5	31, 310, 879	157. 3	640	96. 3

5 国 際 活 動

1 日赤第1ブロック共同開発協力支援事業の実施状況

人道ニーズへの支援として、自然災害や交通事故が多発している国や学校等における衛生環境改善、災害リスク軽減のニーズが高い国に対する資金援助協力を日赤第1ブロック（北海道・東北）合同の国際活動として実施した。

1) 資金援助協力の状況

ラオス	救急法普及支援事業	135,000 円
バヌアツ	青少年赤十字海外支援事業	134,000 円
ルワンダ	気候変動等レジリエンス強化事業	134,000 円
アフガニスタン	気候変動対策事業	134,000 円

（※各事業に対し、日赤第1ブロック全体でそれぞれ1,500,000円を支援）

秋田県支部負担計 537,000 円

（※日赤第1ブロック全体で6,000,000円を支援）

2 国際活動事業地への出張

国際活動事業地を視察することで、日赤の国際活動の意義と活動内容を理解し、本出張を通じて得た知見を各種研修の場で活用するなど社業振興に寄与するため、職員を派遣した。

派 遣 先：ルワンダ（ギサガラ郡）

派遣期間：2月9日（金）～19日（月）

派遣職員：事業推進課 主事 川上 恵

3 「NHK海外たすけあいキャンペーン」の実施状況

12月1日～25日のキャンペーン期間中、銀行等で受付を行ったほか、NHK秋田放送局ロビーに受付窓口を設け救援金を募集した。

また、全県一斉街頭募金を行い、全県各地で奉仕団員が募金を呼び掛けた。

「全県一斉街頭募金」

参加奉仕団数 34 団（青少年赤十字加盟校高校生を含む）

街頭募金額実績 737,032 円

4 海外救援金の受付状況

（令和6年3月31日現在）

名 称	件数（件）	金額（円）
無指定海外救援金	2	4,103
バングラデシュ南部避難民救援金	1	8,100
アフガニスタン人道危機救援金	1	101
ウクライナ人道危機救援金	59	1,845,487
2023年トルコ・シリア地震救援金	71	6,209,933
2023年アメリカ・ハワイ火災救援金	7	91,326
2023年モロッコ地震救援金	4	54,924
2023年リビア洪水救援金	4	41,679
2023年アフガニスタン地震救援金	4	40,764
イスラエル・ガザ人道危機救援金	14	188,655
NHK海外たすけあいキャンペーン	90	1,786,322
計	257	10,271,394

6 災害救護事業等

1 災害救護活動

(1) 令和5年7月14日からの大雨災害救護活動の実施状況

ア 大雨の概況

7月14日から16日にかけて活発な梅雨前線の影響により、秋田県を中心に記録的な大雨となった。

県内の8か箇所の雨量観測所で観測史上1位を記録(48時間降水量等)するなど、過去に雄物川流域で大きな被害をもたらした平成29年7月に匹敵する大雨となった。

イ 県内の被害状況(消防庁情報:令和6年3月6日現在)

人的被害:5人				住家被害:7,018棟				
死者	負傷者			全壊	半壊	床上 浸水	床下 浸水	一部 破損
	重傷	軽傷	小計					
1	1	4	5	11	2,885	742	3,353	27

ウ 秋田県支部の対応

・日赤災害医療コーディネートチームの派遣

派遣要員		所属	派遣先	派遣期間	活動内容
コーディネーター	大村 範幸	秋田赤十字 病院	秋田市 保健所	7月18日	保健所業務支援 (避難所アセスメント)
スタッフ	今野 千春 小沼 祐一				

・救護班の派遣

派遣要員		所属	派遣先	派遣期間	活動内容
班長（医師）	小棚木 圭	秋田赤十字 病院	秋田市 避難所	7 月 19 日	・ 避難所アセス メント ・ 巡回診療
看護師長	遠藤 恵美子				
看護師	佐藤 麻美				
主事	小笠原 寿弘				
診療取扱患者 4 人					

・こころのケア班の派遣

第1班 対応人数 11人					
派遣要員		所属	派遣先	派遣期間	活動内容
ケア要員	菅原 まゆみ	秋田赤十字 病院	秋田市 避難所	7月24日	避難所避難者への こころのケア活動
	堀井 裕美				
主事	南波 晃				
第2班 対応人数 6人					
派遣要員		所属	派遣先	派遣期間	活動内容
ケア要員	佐藤 真紀	秋田赤十字 病院	・秋田市 保健所 ・秋田市 避難所	7月25日	・支援者の支援 ・避難所避難者への こころのケア活動
	堀井 裕美				
主事	小笠原 寿広				
第3班 対応人数 24人					
派遣要員		所属	派遣先	派遣期間	活動内容
ケア要員	佐藤 麻子	宮城県支部	・五城目町 役場 ・五城目町 避難所	7月25日 ～27日	・支援者の支援 ・避難所避難者への こころのケア活動
	新田 聖美	石巻赤十字 病院			
主事	魚住 拓也				
	小山 大介	仙台赤十字 病院			
ケア要員	高橋 直子				
	金谷 瞳				
主事	村上 将太				
第4班 対応人数 12人					
派遣要員		所属	派遣先	派遣期間	活動内容
ケア要員	堀井 裕美	秋田赤十字 病院	・秋田市 役所 ・秋田市 避難所	7月26日	・支援者の支援 ・避難所避難者への こころのケア活動
	柏崎 友美				
主事	夏井 由衣子				
第5班 対応人数 0人					
派遣要員		所属	派遣先	派遣期間	活動内容
ケア要員	今野 千春	秋田赤十字 病院	秋田県支部	7月28日	・宮城県支部からの 業務引継ぎ ・今後の活動計画の 立案
	遠藤 恵美子				
主事	竹澤 雄基				

第 6 班 対応人数 7 人					
派遣要員		所属	派遣先	派遣期間	活動内容
ケア要員	菅原 まゆみ	秋田赤十字 病院	秋田市 避難所	7 月 29 日	・ 支援者の支援 ・ 避難所避難者への こころのケア活動
	遠藤 恵美子				
主事	桜田 浩				
第 7 班 対応人数 7 人					
派遣要員		所属	派遣先	派遣期間	活動内容
ケア要員	稲岡 一枝	秋田県支部	・ 五城目 町役場 ・ 五城目町 避難所	7 月 31 日	・ 支援者の支援 ・ 避難所避難者への こころのケア活動
	佐藤 真紀	秋田赤十字 病院			
	鈴木 理江				
主事	大久保 範子				
第 8 班 対応人数 4 人					
派遣要員		所属	派遣先	派遣期間	活動内容
ケア要員	今野 千春	秋田赤十字 病院	五城目 町役場	8 月 1 日	支援者の支援
	鈴木 理江				
主事	斉藤 行篤				
第 9 班 対応人数 6 人					
派遣要員		所属	派遣先	派遣期間	活動内容
ケア要員	遠藤 恵美子	秋田赤十字 病院	五城目 町役場	8 月 2 日	支援者の支援
	鈴木 理江				
主事	佐藤 悠一				
第 10 班 対応人数 2 人					
派遣要員		所属	派遣先	派遣期間	活動内容
ケア要員	菅原 まゆみ	秋田赤十字 病院	五城目 町役場	8 月 7 日	支援者の支援
	遠藤 恵美子				
主事	川上 恵	秋田県支部			

・健康生活支援チームの派遣

第 1 班				
派遣要員	所属	派遣先	派遣期間	活動内容
稲岡 一枝 川上 恵	秋田県支部	五城目町 避難所ほか	7 月 18 日	被災者へのホット タオル及びリラク ゼーションの提供
菅原 トシエ 八代 千春	ボランティア			
第 2 班				
派遣要員	所属	派遣先	派遣期間	活動内容
稲岡 一枝 須藤 大稀 川上 恵	秋田県支部	五城目町 避難所ほか	7 月 19 日	被災者へのホット タオル及びリラク ゼーションの提供
菅原トシエ	ボランティア			
第 3 班				
派遣要員	所属	派遣先	派遣期間	活動内容
稲岡 一枝 須藤 大稀	秋田県支部	秋田市避難所	7 月 20 日	被災者へのホット タオル及びリラク ゼーションの提供
菅原 トシエ	ボランティア			

・救援物資の配布

配布先	毛布（枚）	緊急セット（個）	安眠セット（個）
秋田市	0	7	34
能代市	300	168	0
三種町	20	24	15
五城目町	0	30	0
合計	320	229	49

(2) 令和6年能登半島地震災害救護活動の実施状況

ア 地震の概況

令和6年1月1日、16時10分に石川県能登地方の深さ16kmでM7.6の地震（最大震度7）が発生し、石川県輪島市及び志賀町で震度7を観測したほか、北陸地方を中心に北海道から九州地方にかけて震度6強～1を観測した。

また、気象庁はこの地震に伴い、16時12分に新潟県、富山県及び石川県に津波警報を、北海道日本海沿岸南部から山口県にかけての日本海沿岸に津波注意報を発表し、16時22分に石川県能登を大津波警報に切り替え、山形県、福井県及び兵庫県北部を津波警報に切り替え、北海道太平洋沿岸西部、北海道日本海沿岸北部及び九州地方の日本海沿岸に津波注意報を発表した（2日10時00分に解除）。

この地震により、石川県の金沢で80cmの津波を観測するなど、北海道から九州地方にかけて、日本海沿岸を中心に広い範囲で津波を観測した。

これらの地震により、死者245人を含む1,500人以上の人的被害及び113,000棟以上の住家被害が生じた。

イ 被害状況（消防庁情報：令和6年4月2日現在）

人的被害:1,545人				住家被害:113,990棟				
死者	負傷者			全壊	半壊	床上 浸水	床下 浸水	一部 破損
	重傷	軽傷	小計					
245	320	980	1,300	8,695	18,986	6	19	86,284

ウ 秋田県支部の対応

・日赤災害医療コーディネートチームの派遣

派遣要員		所属	派遣先	派遣期間	活動内容
スタッフ	鳥海 雄好 小沼 祐一	秋田赤十字 病院	石川県 穴水町	1月30日 ～2月5日	穴水町保健 医療福祉調整 本部の支援

・救護班の派遣

第1班 診療取扱患者 30人					
派遣要員		所属	派遣先	派遣期間	活動内容
班長(医師)	土佐 慎也	秋田赤十字 病院	石川県 能登町	1月8日 ～12日	・避難所巡回 診療
研修医	森 健太郎				
看護師長	佐藤 麻美				
看護師	高橋 千裕				
看護師	長谷川 志穂子				
主事	加賀谷 和矢				
主事	小笠原 寿弘				
薬剤師	佐藤 優弥				
連絡調整員	高橋 真	秋田県支部			

第 2 班 診療取扱患者 27 人					
派遣要員		所属	派遣先	派遣期間	活動内容
班長(医師)	湯本 聡	秋田赤十字 病院	石川県 能登町	1 月 19 日 ～23 日	・避難所巡回 診療 ・避難所環境 整備 (段ボールベ ッドの設置)
研修医	松本 朋大				
看護師長	今野 千春				
看護師	三浦 則子				
看護師	松田 大典				
主事	坂本 和寛				
主事	平川 公太				
薬剤師	工藤 望				
連絡調整員	菊地 雄大	秋田県支部			

第3班 診療取扱患者 11人					
派遣要員		所属	派遣先	派遣期間	活動内容
班長(医師)	吉川 健二郎	秋田赤十字 病院	石川県 能登町	1月27日 ～31日	・避難所巡回診療
研修医	利部 美和				
看護師長	遠藤 恵美子				
看護師	加藤 ひろみ				
看護師	高橋 千紘				
主事	大山 幸男				
主事	成田 祥理				
薬剤師	越後 洋平				

第4班 診療取扱患者 14人					
派遣要員		所属	派遣先	派遣期間	活動内容
班長(医師)	佐藤 隆太	秋田赤十字 病院	石川県 能登町	2月5日 ～9日	・避難所巡回診療
研修医	中野 雄貴				
看護師長	堀井 裕美				
看護師	成田 真理子				
看護師	越高 庸平				
主事	伊藤 省吾				
主事	奥 駿介				
薬剤師	和地 徹				

第5班 診療取扱患者 17人					
派遣要員		所属	派遣先	派遣期間	活動内容
班長(医師)	武藤 理	秋田赤十字 病院	石川県 珠洲市	3月2日 ～6日	・避難所巡回診療 ・救護所診療
看護師長	鈴木 理江				
看護師	石井 直子				
主事	榊田 敏仁				
主事	南波 晃				
薬剤師	渡邊 智穂				

(3) 県内各地で発生した火災・水害等の被災者に対して、次のとおり
日赤地区・分区を通じて救援物資・災害見舞金を贈った。

(令和6年3月31日現在)

区 分	救 援 物 資		見 舞 金 円
	毛 布 枚	緊急セット 個	
秋 田 市	8	4	120,000
能 代 市	185	114	60,000
横 手 市	2	5	240,000
大 館 市	14	6	90,000
男 鹿 市	-	-	50,000
湯 沢 市	-	-	30,000
鹿 角 市	-	-	30,000
由利本荘市	4	4	60,000
潟 上 市	1	1	10,000
大 仙 市	5	5	60,000
北 秋 田 市	18	8	140,000
にかほ市	4	16	-
仙 北 市	4	-	40,000
小 坂 町	-	-	20,000
上小阿仁村	-	11	-
藤 里 町	1	1	-
三 種 町	7	-	-
八 峰 町	-	-	20,000
五 城 目 町	2	12	-
八 郎 潟 町	-	7	-
井 川 町	7	6	-
大 潟 村	-	-	-
美 郷 町	2	1	20,000
羽 後 町	2	1	20,000
東成瀬村	2	-	-
計	266	202	1,010,000

2 訓練・研修会の実施状況

(1) 災害救護訓練等

訓 練 名	期 日	場 所	主催者	赤十字関係参加人員	
				人数	内訳
令和5年度日赤災害医療コーディネート研修会	①7月8日 ～9日 ②9月23日 ～24日	東京都港区	日本赤十字社 本社	3	①コーディネーター1 ②コーディネーター1 支部1
全国赤十字救護班研修会	8月19日 ～20日	宮城県石巻市	日本赤十字社 本社 北海道・東北の道県支部	7	支部1、救護班5 指導スタッフ1
秋田県総合防災訓練	9月3日	大仙市	秋田県大仙市	15	支部2、救護班8 防災ボランティア5
秋田県保健医療福祉調整本部運営スタッフ研修	9月3日	秋田市	秋田県	5	支部1 コーディネーター チーム4
第1ブロック支部合同災害救護訓練	10月20日 ～21日	宮城県石巻市	北海道・東北の道県支部	13	支部3、救護班8 コーディネーター1 防災ボランティア1
第1ブロック支部日赤災害医療コーディネーター連絡会	10月20日	宮城県石巻市	北海道・東北の道県支部	2	コーディネーター1 支部1
秋田空港総合防災訓練	10月31日	秋田市	秋田空港	10	支部1、救護班6 コーディネーター チーム3
支部災害対策本部設置訓練	10月31日	秋田市	日赤秋田県支部	5	支部3、病院2

(2) 救護員研修会

期 日 9月26日

会 場 日本赤十字秋田看護大学・短期大学 体育館

出席者 19人

内 容 ①エアーテントによる救護所設営及び傷病者トリアージ
②業務用無線・衛星電話・発電機の使用法

3 「赤十字防災セミナー」の実施状況

(1) 災害に対する意識や発生時に対する対処方法・応急手当についての知識や技術を習得していただくことを目的に、次のとおり実施した。

内容

- | | |
|--------------|---------------|
| ①災害への備え | ②地域で防災マップを作ろう |
| ③被災者体験談から学ぼう | ④家庭内の危険を探そう |
| ⑤避難所運営を体験しよう | ⑥炊き出し |

開催地	期 日	主 催 者	対 象	人数 (人)	時間 (時間)	指導者
秋 田 市	4 月 26 日	株式会社 ALL-A	一 般	5	1	(支) 菊地
	5 月 19 日	ライオンズマンション 千秋公園管理組合	一 般	36	1	(ボ) 竹内
	7 月 1 日	秋田県青少年交流センター	高 校 生	6	1	(支) 碓谷
	7 月 6 日	秋田市教育委員会	一 般	54	1	(支) 菊地
	8 月 5 日	秋田県難聴者・ 中途失聴者協会	一 般	11	1.5	(ボ) 竹内
	8 月 12 日	四ツ小屋地域 元気づくり協議会	一 般	20	1	(病) 竹澤
	8 月 24 日	日本赤十字社秋田県支部	地区・分区 担 当 者	12	0.5	(支) 菊地 須藤
	8 月 31 日	秋田市教育委員会 生涯学習室	一 般	7	1.5	(支) 菊地
	9 月 19 日	日本赤十字社秋田県支部	支 部 職 員	6	0.75	(支) 菊地
	10 月 15 日	御野場新町四丁目町内会	一 般	12	1	(支) 菊地、 (ボ) 竹内
	11 月 12 日	びーらぶ秋田	一 般	30	1	(支) 碓谷
	11 月 12 日	飯島街道町内会	一 般	50	1	(ボ) 八代
	11 月 23 日	日本赤十字社秋田県支部	一 般	18	1.5	(支) 菊地
	11 月 23 日	日本赤十字社秋田県支部	一 般	18	0.5	(支) 菊地
	11 月 25 日	日本赤十字社秋田県支部	学 生	5	0.5	(支) 菊地
	11 月 25 日	日本赤十字社秋田県支部	学 生	5	0.75	(支) 菊地
	12 月 2 日	秋田県赤十字救急法奉仕団 (中央地区)	奉 仕 団	5	1.5	(支) 菊地
	12 月 12 日	秋田県立新屋高等学校	生 徒	32	1	(支) 菊地
	2 月 28 日	秋田県地質調査業協会	一 般	28	1	(支) 碓谷
	3 月 18 日	秋田マルハ会	一 般	15	1.5	(支) 川上
	3 月 30 日	新藤田町内会	一 般	27	1	(支) 川上
	10 月 1 日	男鹿市役所	一 般	41	1	(支) 碓谷
	12 月 21 日	八郎潟町食生活研究会	一 般	20	1	(支) 菊地

開催地	期 日	主 催 者	対 象	人数 (人)	時間 (時間)	指導者
能 代 市	10 月 31 日	秋田県立能代支援学校	生 徒	70	0.5	(支) 碓谷
横 手 市	9 月 21 日	日赤横手市地区大雄分区	奉 仕 団	28	2	(支) 稲岡 碓谷
	12 月 1 日	日赤横手市地区	奉 仕 団	50	1	(病) 石井
	3 月 7 日	横手市赤十字奉仕団 雄物川分団	奉 仕 団	28	1	(支) 碓谷
大 館 市	6 月 21 日	大館市大館赤十字奉仕団	奉 仕 団	18	1	(支) 碓谷
	8 月 24 日	大館市大滝温泉自治会	一 般	25	1.5	(ボ) 糸屋幸 高橋邦
	8 月 28 日	秋田県立比内支援学校	児 生 童 徒	120	2	(ボ) 糸屋幸
由 利 本 荘 市	2 月 29 日	東由利館合地区ミニ デイスサービス「たんぽぽの会」	一 般	18	1	(支) 碓谷
男 鹿 市	6 月 18 日	男鹿市役所	一 般	22	1.5	(支) 碓谷
	10 月 1 日	男鹿市役所	一 般	41	1	(支) 碓谷
湯 沢 市	3 月 24 日	伊藤建友株式会社	一 般	20	1	(支) 菊地
大 仙 市	9 月 3 日	日赤大仙市地区仙北分区	一 般	180	1	(ボ) 八代 高橋里・高橋文
	11 月 19 日	大仙市中仙赤十字奉仕団	奉 仕 団	50	2	(ボ) 高橋邦 高橋里
にかほ市	10 月 18 日	にかほ市社会福祉協議会	一 般	26	2	(支) 碓谷
八 峰 町	10 月 1 日	日赤八峰町分区	一 般	30	2	(ボ) 佐藤勇
五城目町	2 月 27 日	日赤五城目町分区	一 般	25	1	(病) 小沼
八郎潟町	6 月 29 日	八郎潟町社会福祉協議会	一 般	39	1	(支) 菊地 碓谷
	11 月 3 日	日赤八郎潟町分区	一 般	28	1.5	(支) 碓谷 菊地
	12 月 21 日	八郎潟町食生活研究会	一 般	20	1	(支) 菊地
東成瀬村	9 月 15 日	東成瀬村社会福祉協議会	一 般	18	2	(支) 碓谷
計		41 回		1,258	47.5	

(2) 日本赤十字社防災教育事業主任指導者研修

期 日 4 月 28 日

会 場 Web 会議

参 加 者 日赤秋田県支部職員 2 人

(3) 日本赤十字社防災教育事業指導者フォローアップ研修

(本社主催)

期 日 7月4日～5日

会 場 日本赤十字社

参加者 日赤秋田県支部職員 2人

(支部主催)

期 日 11月23日

会 場 秋田県社会福祉会館 第3会議室

参加者 防災教育事業指導者 18人

(4) 指導者養成講習会

期 日 2月3日～4日

会 場 秋田県社会福祉会館 第3会議室

主任指導者 日赤秋田県支部 事業推進課 菊地 雄大

受講者数 13人(男 8人、女 5人)

合格者数 13人(男 8人、女 5人)

4 赤十字災害救援車の寄贈配置

地域において、赤十字活動の推進に活用いただくことを目的に、平成 15 年度から年次計画に基づき災害救援車を市町村（地区・分区）に寄贈配置することとし、今年度は次のとおり寄贈した。

配 置 台 数	3 台
車 種	ホンダ N-WGN（軽四輪自動車）
配置地区・分区	能代市、潟上市、藤里町
累 計	103 台（平成 15 年度～）

5 救護装備の寄贈配置

地域において住民の安全・健康の保持や地域活動の活性化に資することを目的に、救護装備品を地区・分区に寄贈配置することとし、今年度は次のとおり寄贈した。

（1）AED（自動体外式除細動器）

配 置 台 数	3 台
配置地区・分区	能代市、横手市、藤里町
累 計	138 台（平成 20 年度～）

（2）発電機

配 置 台 数	3 台
配置地区・分区	横手市、湯沢市、大仙市
累 計	77 台（平成 26 年度～）

（3）ワンタッチテント

配 置 台 数	3 張
配置地区・分区	横手市、由利本荘市、五城目町
累 計	70 張（平成 28 年度～）

（4）救護資器材倉庫

配 置 台 数	3 棟
配置地区・分区	横手市、大仙市、大潟村
累 計	5 棟（令和 4 年度～）

（5）避難所用防災テント

配 置 台 数	54 張
配置地区・分区	横手市（48）、由利本荘市（2）、大仙市（3） 東成瀬村
累 計	151 張（令和 4 年度～）

(6) ポータブル電源（新規）

配 置 台 数 14 台

配置地区・分区 横手市（2）、男鹿市、由利本荘市（2）、大仙市（2）
北秋田市、小坂町、藤里町、三種町、八郎潟町、
井川町、美郷町

累 計 14 台（令和 5 年度～）

(7) 簡易ベッド（新規）

配 置 台 数 5 台

配置地区・分区 小坂町

累 計 5 台（令和 5 年度～）

6 救護資器材の整備

- ・救護員作業衣等（冬用作業衣（上）30、作業用 T シャツ 120、作業帽 30）購入
- ・災害救援車 1 購入
- ・AED 1 購入
- ・エアーテント一式 本社整備

7 救護員登録状況

(1) 救護員登録状況

（令和 6 年 3 月 31 日現在）

施 設 別	人 数（人）		
	災害対策本部要員	救 護 班 要 員	血 液 供 給 要 員
支 部	8	—	—
病 院	13	70	—
血液センター	2	—	3
計	23	70	3

※病院の災害対策本部要員については日赤災害医療コーディネートチームであり
内訳は次のとおり

- ・日赤災害医療コーディネーター 3 人
- ・日赤災害医療コーディネートスタッフ 10 人

(2) 救護班の編成状況

（令和 6 年 3 月 31 日現在）

常 置 施 設	救護班数（班）	救護班要員数（人）	職種別要員数（人）
病 院	9	70	医 師 9 看護師長 9 看護師 18 主 事 23 薬剤師 9 助産師 2

(3) こころのケア指導者・要員の登録状況

(令和6年3月31日現在)

施設別	人数(人)	
	こころのケア指導者	こころのケア要員
支部	0	4
病院	11	115
血液センター	0	1
乳児院	0	1
看護大学・短大	1	0
計	12	121

(4) 日本DMAT隊員の登録状況

(令和6年3月31日現在)

常置施設	隊員登録者数(人)	職種別隊員数(人)
病院	30	医師 6
		看護師 13
		業務調整員 11

8 防災ボランティア登録状況

(令和6年3月31日現在)

区分	登録団体数	男女別数(人)		計(人)
団体	1	男	82	86
		女	4	
個人	—	男	20	32
		女	12	
防災ボランティア・リーダー	—	男	8	9
		女	1	
計	1	男	110	127
		女	17	

9 救護資器材の主な装備状況

(令和6年3月31日現在)

資 器 材 名	数 量	備 考
150MHZ帯業務用無線機	33	基地局1、移動局23、携帯用9(血液センターを含む)
400MHZ帯業務用無線機	24	基地局1、移動局9、携帯用14
アマチュア無線機	4	アマチュア無線奉仕団用(内、携帯用2)
防災行政用無線電話	1	
衛星携帯電話	3	車載1、可搬型2
デジタル簡易無線機	10	
トランシーバー	10	
医療セット	3	
携帯型医療セット	1	
発電機	10	ガソリン燃料5、LPガス燃料5
投光器	2	
担架	15	
折りたたみ寝台	31	
天幕	8	
移動炊飯器	6	
救急車	2	病院
災害救援車	6	支部
エアータント	2	
組立てトイレ	47	
組立てトランク型自動ラップ式トイレ式	10	消耗品セット、バッテリー、テント含む
患者掲示板	1	
ホワイトボード	1	
担架架台	1	
折りたたみ診察台	1	
折りたたみテーブル	2	
折りたたみ椅子	4	
医療セット置き台	1	
ノートパソコン	1	
拡声器	2	
救護所標示灯	1	
救護活動用自転車	1	
救護活動用車椅子	1	
トリアージシート	2	4色(黒・赤・黄・緑)×2組
パルスオキシメーター	1	
AED	2	
フレームテント	2	ドラッシュテント
モバイルプリンター	1	
デジタル個人線量計	14	
空中線量率測定用サーベイメータ	1	
避難所用防災テント	103	
蓄電池	5	大 2、小 3

10 救援物資の備蓄状況

品 名	数 量
毛 布	1,670枚
タオルケット	1,808枚
緊 急 セ ッ ト	1,114個
安 眠 セ ッ ト	656個

11 救護看護師の養成等

「救護員としての赤十字看護師」として登録・任命するため必要な知識、技術、態度を習得することを目的とし、秋田赤十字病院に採用された3年目の看護師を対象に5日間の研修を実施した。(修了者22人)

12 義援金の受付状況

(令和6年3月31日現在)

名 称	件 数 (件)	金 額 (円)
令和5年5月能登地方地震災害義援金	24	128,189
令和5年台風第2号等大雨災害義援金	9	133,167
令和5年6月30日からの大雨災害義援金	5	66,077
令和5年7月7日からの大雨災害義援金	1,565	282,244,264
令和5年台風第6号災害義援金	4	51,645
令和5年台風第13号災害義援金	5	77,928
令和6年能登半島地震災害義援金	1,499	49,315,910
計	3,111	332,017,180

7 救急法・健康生活支援講習等の普及

1 総括表

種別	講習名称	回数(回)	受講者数(人)	資格取得者数(人)
救急法	基礎講習	25	552	552
	救急員養成講習	17	382	382
	短期講習	101	2,818	
	計	143	3,752	934
健康生活支援講習	支援員養成講習	2	82	82
	災害時生活支援講習(高齢者)	9	313	
	短期講習	47	1,910	
	計	58	2,305	
水上安全法	救助員Ⅰ養成講習	1	13	12
	短期講習	19	506	
	計	20	519	12
幼児安全法	支援員養成講習	5	104	104
	短期講習	23	300	
	災害時生活支援講習(乳幼児と保護者)	2	73	
	計	30	477	
雪上安全法	救助員Ⅰ養成講習	1	40	40
	短期講習	0	0	
	計	1	40	40
総計		252	7,093	986

2 救急法

病気やけがや災害から自分自身を守り、けが人や急病人を正しく救助して、医師または急隊などに引き継ぐまでの救命手当及び応急手当について指導する救急法の講習を次のとおり実施した。

(1) 一般普及講習及び短期講習の開催状況

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得 者数(基礎)	資格取得 者数(教 員)
秋 田 市	4月2日	厚生ビル管理㈱	警 備 員	1	1	(ボ) 伊藤一		
	4月7日	秋田リハビリテーション学院	学 生	45	1.5	(ボ) 長谷川		
	4月11日	秋田県労働基準協会	一 般	39	2.5	(支) 碓谷・川上・淡路 (ボ) 竹内		
	4月11日	秋田県労働基準協会	一 般	37	2.5	(支) 碓谷・川上・淡路 (ボ) 竹内		
	4月18日	㈱ユアテック秋田支社	職 員	18	1.5	(支) 碓谷		
	4月24日	秋田県林業研究研修センター	研修生及 び 職 員	16	4	(支) 碓谷 (ボ) 竹内	16	
	5月13日	秋田赤十字病院	職 員	15	4	(病) 伊藤成・三浦則 石井	15	
	5月15日	秋田県林業労働対策基金	林 業 者 従 事 者	28	4	(支) 碓谷 (ボ) 竹内	28	
	5月16日	秋田県看護協会	看 護 師	10	2	(支) 碓谷		
	5月19日	ライオンズマンション 千秋公園管理組合	一 般	36	0.75	(ボ) 竹内		
	5月20日 ～21日	秋田赤十字病院	職 員	11	10	(病) 竹澤・石井・小笠原 鎌田・堀江・榊田 加賀谷		11
	5月28日	日赤秋田県支部	幼 児 児 童	5	0.3	(ボ) 田口・竹内		
	5月28日	日赤秋田県支部	幼 児 児 童	4	0.3	(ボ) 田口・竹内		
	5月28日	日赤秋田県支部	幼 児 児 童	5	0.3	(ボ) 田口・竹内		
	5月28日	日赤秋田県支部	幼 児 児 童	6	0.3	(ボ) 田口・竹内		
	5月28日	日赤秋田県支部	幼 児 児 童	7	0.3	(ボ) 田口・竹内		
	5月28日	日赤秋田県支部	幼 児 児 童	2	0.3	(ボ) 板倉・藤田		
	5月28日	日赤秋田県支部	幼 児 児 童	4	0.3	(ボ) 板倉・藤田		
	5月28日	日赤秋田県支部	幼 児 児 童	4	0.3	(ボ) 板倉・藤田		
	5月28日	日赤秋田県支部	幼 児 児 童	6	0.3	(ボ) 板倉・藤田		
	5月28日	日赤秋田県支部	幼 児 児 童	8	0.3	(ボ) 板倉・藤田		
	6月6日	日本赤十字秋田看護大学	大 学 生	54	7	(病) 小笠原 (看) 荻原・新沼 (ボ) 竹内・長谷川・松渕	54	
	6月7日	日本赤十字秋田看護大学	大 学 生	51	7	(病) 石井、(看) 荻原 (看) 新沼 (ボ) 松渕・佐々木	51	
	6月7日	厚生ビル管理㈱	警 備 員	2	1	(ボ) 伊藤一		
	6月8日	秋田北高等学校	生徒及び 教 職 員	250	2	(支) 菊地・淡路 (ボ) 竹内・三森		
	6月14日	秋田南高等学校・中等部	教 職 員	20	1	(ボ) 長谷川・竹内		
	6月15日	秋田県労働基準協会	一 般	37	2.5	(病) 石井 (乳) 佐々木 (ボ) 竹内・三森		
	6月15日	秋田県労働基準協会	一 般	38	2.5	(病) 石井 (乳) 佐々木 (ボ) 竹内・三森		
	6月15日	厚生ビル管理㈱	警 備 員	1	1	(ボ) 伊藤一		
	6月15日	秋田赤十字病院	看 護 師	22	3	(支) 碓谷、 (病) 竹澤・今野 三浦則・五十嵐		
	6月16日	秋田南高等学校・中等部	教 職 員	10	1	(ボ) 伊藤三		

開催地	期日	主催者	受講者別	人数 (人)	時間 (時間)	指導員	資格取得 者数(基礎)	資格取得 者数(救急員)
秋田市	6月24日	日本赤十字 秋田看護大学・短期大学	大 学 生	63	1.5	(ボ) 竹内・高橋邦 板倉・岡部		
	6月29日 ～30日	日本赤十字秋田看護大学	大 学 生	53	12	(支) 碓谷、(病) 清水 (看) 荻原・新沼 (ボ) 竹内		53
	7月1日	秋田県青少年交流センター	高 校 生 職 員	6	1	(支) 碓谷 (ボ) 高橋邦		
	7月4日 ～5日	日本赤十字秋田看護大学	大 学 生	55	12	(支) 碓谷 (病) 竹澤・石井 (看) 荻原・新沼		55
	7月8日	秋田県赤十字水上安全法奉仕団	一 般	10	4	※別記1のとおり	10	
	7月12日	秋田県社会福祉協議会	介護職員	12	2	(支) 碓谷		
	7月12日	秋田県社会福祉協議会	介護職員	14	2	(支) 碓谷		
	7月20日 ～21日	秋田県警察学校	警 察 官	30	6	(ボ) 小西	30	
	7月25日 ～27日	秋田県警察学校	警 察 官	30	10	(ボ) 小西		30
	8月3日	秋田県立リハビリテーション 精神医療センター	職 員	8	1	(ボ) 長谷川		
	8月5日	秋田県難聴者・中途失聴者協会	一 般	11	1.5	(ボ) 竹内		
	8月12日	四ツ小屋地域元気づくり協議会	一 般	20	0.5	(病) 竹澤・小笠原		
	8月27日	特定非営利活動法人 秋田県防災士会	防災士会 会 員	34	4	(ボ) 竹内・田口	34	
	8月28日	日本赤十字秋田短期大学	大 学 生	15	4	(支) 碓谷 (ボ) 長谷川	15	
	8月29日 ～30日	日本赤十字秋田短期大学	大 学 生	14	12	(支) 菊地・碓谷 (ボ) 長谷川・竹内 佐々木靖		14
	9月2日	日赤秋田県支部	一 般	16	4	(支) 菊地 (ボ) 竹内	16	
	9月3日 ・9日	日赤秋田県支部	一 般	14	12	(支) 碓谷 (ボ) 長谷川・竹内 岡部・板倉		14
	9月20日	日本赤十字 秋田看護大学・短期大学	大 学 生	337	4	(看) 荻原・新沼 (ボ) 松淵		
	10月12日	厚生ビル管理㈱	警 備 員	1	1	(ボ) 伊藤一		
	10月14日	厚生ビル管理㈱	警 備 員	5	1	(ボ) 伊藤一		
	10月14日	秋田県看護協会	看 護 師	11	2	(ボ) 板倉		
	10月15日	御野場新町四丁目町内会	一 般	12	1	(支) 菊地 (ボ) 竹内		
	10月16日	厚生ビル管理㈱	警 備 員	4	1	(ボ) 伊藤一		
	10月19日	㈱ホクシンエレクトロニクス	従 業 員	15	1	(支) 碓谷		
	10月22日	厚生ビル管理㈱	従 業 員	2	1	(ボ) 伊藤一		
	10月24日	公益財団法人 介護労働安定センター	介護職員	30	2	(支) 碓谷 (ボ) 竹内		
	11月8日	秋田県労働基準協会	一 般	40	2.5	(支) 碓谷・高橋 (病) 小笠原 (ボ) 竹内		
	11月8日	秋田県労働基準協会	一 般	40	2.5	(支) 碓谷・須藤 (病) 小笠原 (ボ) 竹内		
	11月8日 10日	秋田県警察学校	警 察 官	42	6	(ボ) 小西	42	
	11月12日	飯島街道町内会	一 般	50	1	(ボ) 八代・板倉 岡部		
	11月12日	びーらぶ秋田	一 般	30	1	(支) 碓谷		
	11月13日	厚生ビル管理㈱	警 備 員	1	1	(ボ) 伊藤一		

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得 者数(基礎)	資格取得 者数(救急員)
秋 田 市	11月15日	秋田リハビリテーション学院	学 生	36	5	(支) 碓谷・須藤 (ボ) 長谷川	36	
	11月16日 ～17日	秋田リハビリテーション学院	学 生	36	12	(支) 碓谷・須藤 川上・淡路 (病) 鎌田、(ボ) 長谷川		36
	11月19日	秋田県中部地区郵便局長婦人会	一 般	37	2	(ボ) 竹内・板倉		
	11月22日	秋田大学 教育文化学部附属小学校	児 童 及 び 保 護 者	200	1	(支) 川上・淡路 (ボ) 伊藤三		
	11月29日	秋田南高等学校・中等部	教 職 員	22	1	(ボ) 伊藤三		
	11月30日	土崎地区老人クラブ	一 般	36	1	(支) 碓谷・川上		
	12月2日	秋田県赤十字救急法奉仕団	一 般	29	4	(ボ) 田口・竹内 岡部・佐々木靖 板倉・畠山	29	
	12月5日 ～7日	秋田県警察学校	警 察 官	42	10	(ボ) 小西		42
	12月9日 ～10日	秋田県赤十字救急法奉仕団	一 般	15	12	(ボ) 竹内・岡部・ 佐々木靖・板倉 畠山・松渕		15
	12月12日	秋田県立新屋高等学校	生 徒	32	1	(支) 菊地		
	12月17日	秋田県水泳連盟	スポーツ指導員 (水泳) 基礎水泳指導員	24	1.5	(支) 川上 (ボ) 竹内		
	12月19日	秋田県労働基準協会	酸 欠 特別教育 講習受講者	30	2	(支) 碓谷		
	1月11日	秋田県立歯科医療専門学校	専門学生	40	6	(支) 碓谷・川上	40	
	1月12日 ・15日	秋田県立歯科医療専門学校	専門学生	37	12	(支) 鎌田・碓谷 川上・淡路 (血) 伊藤		37
	2月8日	秋田県労働基準協会	一 般	40	2.5	(支) 碓谷、(病) 鎌田 (乳) 水澤、(ボ) 竹内		
	2月8日	秋田県労働基準協会	一 般	39	2.5	(支) 碓谷、(病) 鎌田 (乳) 水澤、(ボ) 竹内		
	2月16日	日赤秋田市地区	一 般	30	1.5	(支) 碓谷		
	2月28日	秋田県地質調査業協会	一 般	28	1	(支) 碓谷		
	3月2日	日赤秋田県支部	一 般	28	4	(支) 碓谷 (病) 正木 (乳) 野呂	28	
	3月6日	厚生ビル管理㈱	警 備 員	1	1	(ボ) 伊藤一		
	3月8日	聖霊女子短期大学付属高等学校	生 徒	70	1	(支) 碓谷・川上		
	3月8日	聖霊女子短期大学付属高等学校	生 徒	88	1	(支) 碓谷・川上		
	3月9日	秋田県看護協会	看 護 師	7	2	(支) 菊地		
	3月9日 ～10日	日赤秋田県支部	一 般	27	12	(支) 菊地・碓谷 川上・淡路		27
	3月30日	新藤田町内会	一 般	27	1	(支) 川上 (ボ) 竹内		
能 代 市	7月4日	能代市立第四小学校	児 童	68	1	(ボ) 佐藤勇・糸屋幸 糸屋賢・大塚 秋山里		
	7月4日	能代市立第四小学校	教 職 員	30	1	(ボ) 佐藤勇・糸屋幸 糸屋賢・大塚 秋山里		
	7月21日	能代市立能代東中学校	生徒及び 教 職 員	111	2	(支) 川上 (ボ) 糸屋幸		
	8月30日	日赤能代市地区	一 般	13	2	(ボ) 糸屋幸		
	10月9日	厚生ビル管理㈱	警 備 員	3	1	(ボ) 伊藤一		
	11月4日	秋田県赤十字救急法奉仕団	一 般	16	4	(ボ) 佐藤勇・長内 糸屋幸・糸屋賢 大塚・富樫	16	

開 催 地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得 者数(基 礎)	資格取得 者数(救 急員)
能 代 市	11月5日 ・11日	秋田県赤十字救急法奉仕団	一 般	3	12	(ボ) 佐藤勇・長内 糸屋幸・糸屋賢 大塚・富樫・今井		3
	11月27日	能代市立東雲中学校	生徒及び 教 職 員	74	2	(支) 碓谷・ (ボ) 佐藤勇・柴田 梅田		
	3月2日	能代市市民活動支援センター	一 般	15	1	(ボ) 田口・渡辺		
横 手 市	8月6日	秋田県赤十字救急法奉仕団	一 般	7	4	(ボ) 土井雅・土井智 高橋邦・高橋里 佐野・藤井	7	
	9月20日	秋田県立雄物川高等学校	生 徒	34	1.5	(支) 碓谷 (ボ) 高橋邦		
	10月3日	厚生ビル管理㈱	警 備 員	4	1	(ボ) 伊藤一		
	11月3日	秋田県赤十字救急法奉仕団	一 般	5	4	(ボ) 土井雅・土井智 藤井・高橋佳 佐野	5	
	11月4日 ～5日	秋田県赤十字救急法奉仕団	一 般	5	12	(ボ) 土井雅・土井智 藤井・高橋邦 高橋里		5
	11月10日	日赤横手市地区	一 般	16	1	(ボ) 土井雅・土井智 銭谷		
	11月18日	特定非営利活動法人 秋田県防災士会	防災士会 会 員	18	4	(ボ) 竹内・高橋文	18	
	3月7日	日赤横手市地区雄物川分区	奉仕団員	28	1.5	(支) 碓谷		
湯 沢 市	7月18日	湯沢市立湯沢西小学校	教 職 員	30	2	(ボ) 銭谷		
	8月21日	秋田県立湯沢翔北高校専攻科	専攻科生	7	4	(支) 碓谷 (ボ) 高橋邦・高橋里 銭谷	7	
	8月22日 ～23日	秋田県立湯沢翔北高校専攻科	専攻科生	7	12	(支) 碓谷 (ボ) 銭谷・佐野		7
	10月21日	厚生ビル管理㈱	従 業 員	3	1	(ボ) 伊藤一		
	11月12日	厚生ビル管理㈱	従 業 員	1	1	(ボ) 伊藤一		
	12月1日	湯沢市教育委員会	稲 川 スキー場 業務従事者	21	2	(支) 碓谷 (ボ) 土井雅・土井智		
	2月26日	日赤湯沢市地区	一 般	12	1.5	(ボ) 銭谷・高橋里		
鹿 角 市	10月5日	厚生ビル管理㈱	警 備 員	4	1	(ボ) 伊藤一		
由利本荘市	5月28日	由利本荘市地域づくり推進事業 ユニコムぼうさい秋田	一 般	12	2	(ボ) 佐藤美		
	6月21日	厚生ビル管理㈱	警 備 員	1	1	(ボ) 伊藤一		
	7月31日	秋田県立ゆり支援学校	教 職 員	41	1	(ボ) 糸屋賢・三森		
	8月19日	由利本荘市地域づくり推進事業 ユニコムぼうさい秋田	一 般	15	1	(ボ) 佐藤美		
	8月22日	秋田県立由利高等学校	教 職 員	40	1	(ボ) 佐々木靖 佐藤美 佐々木弘		
	9月16日	特定非営利活動法人 秋田県防災士会	一 般	18	3	(ボ) 竹内・田口		
由利本荘市	10月4日	厚生ビル管理㈱	警 備 員	2	1	(ボ) 伊藤一		
	11月1日	社会福祉法人 久盛会あまさぎ園	介護職員	10	2	(支) 碓谷		
	1月18日	厚生ビル管理㈱	警 備 員	1	1	(ボ) 伊藤一		
	2月22日	秋田県立ゆり支援学校	生徒及び 教 職 員	6	1	(支) 碓谷		
大 仙 市	6月28日	秋田県立 大曲農業高等学校太田分校	生 徒	26	2	(支) 碓谷 (ボ) 高橋邦		

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得 者数(基 礎)	資格取得 者数(救 急員)
大仙市	9月18日	日赤秋田県支部	生 徒	13	1	(支) 菊地・川上 碓谷 (ボ) 銭谷		
	10月15日	厚生ビル管理㈱	警 備 員	3	1	(ボ) 伊藤一		
北秋田市	5月17日	特定非営利活動法人 冒険の鍵クーン	一 般	15	4	(ボ) 梅田・糸屋幸 糸屋賢 佐々木靖彦	15	
	5月18日 ～19日	特定非営利活動法人 冒険の鍵クーン	一 般	11	10	(ボ) 糸屋幸・糸屋賢 長内昭継 柴田仁志		11
	10月6日	厚生ビル管理㈱	警 備 員	3	1	(ボ) 伊藤一		
	10月7日	秋田県赤十字救急法奉仕団	一 般	10	4	(ボ) 佐藤勇・長内 糸屋賢・富樫 根本	10	
	12月25日	厚生ビル管理㈱	警 備 員	1	1	(ボ) 伊藤一		
	1月27日	特定非営利活動法人 秋田県防災士会	防災士会 会 員	9	4	(ボ) 竹内・田口	9	
	3月14日	厚生ビル管理㈱	警 備 員	1	1	(ボ) 伊藤一		
仙 北 市	6月4日	田沢湖スキークラブ	一 般	17	4	(ボ) 長谷川・藤井	17	
	6月10日 ～11日	田沢湖スキークラブ	一 般	16	10	(ボ) 長谷川・藤井		16
小 坂 町	7月24日	小坂町立小坂小・中学校	教 職 員	30	1.5	(ボ) 長内・糸屋幸 糸屋賢		
八 峰 町	7月21日	八峰町立八峰中学校	生 徒	33	1	(ボ) 佐藤勇・長内 柴田		
八 郎 潟 町	10月13日	厚生ビル管理㈱	警 備 員	2	1	(ボ) 伊藤一		
	11月14日	厚生ビル管理㈱	警 備 員	2	1	(ボ) 伊藤一		
大 潟 村	11月7日	大潟村立大潟中学校	生 徒 教 職 員	29	1	(支) 碓谷		
羽 後 町	8月23日	羽後町立西馬音内小学校	教 職 員	22	1	(ボ) 高橋里		
	9月26日	羽後町スキークラブ	一 般	4	4	(ボ) 高橋里	4	
	10月7日 ～8日	秋田県スキー連盟	一 般	6	12	(ボ) 長谷川		6
計		143回		3,752	441.3		552	382

※同日、同主催者によって開催されている講習は、対象者が異なる。

※指導員欄の(支)は支部職員、(病)は赤十字病院職員、(血)は血液センター職員、(乳)は乳児院職員、(看)は日赤看護大職員、(ボ)はボランティア指導員を表す。

※資格取得者数欄(基礎)は基礎講習(4時間)を修了し、検定の結果「赤十字ベーシックライフサポーター」に合格した者の数を表す。

※資格取得者数欄(救急員)は救急員養成講習(10時間)を修了し、検定の結果「救急員」に合格した者の数を表す。

※別記1 (病) 伊藤衣 (ボ) 畠山・佐藤勇・三森・銭谷・糸屋幸・糸屋賢・長内・大塚・佐々木恵

(2) 指導員研修会の実施

日本赤十字社救急法等講習規則施行細則第8条に基づく指導員研修を、次のとおり実施した。

期 日 4月22日

会 場 秋田県社会福祉会館 2階展示ホール

参加者数 68人

研修内容 ・令和4年度講習事業の報告及び令和5年度講習普及等について
・救急員養成講習における実技の確認について

(3) 救急法講師養成講習への参加

期 日 11月14日～16日

会 場 日本赤十字社 101会議室

参 加 者 日赤秋田県支部 事業推進課 菊地雄大

3 健康生活支援講習

高齢期を迎える前からの健康管理の備え、地域での高齢者支援、高齢者の介護方法を紹介する健康生活支援講習を次のとおり実施した。

(1) 一般普及講習及び短期講習の開催状況

開催地	期 日	主 催 者	受講者別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
秋 田 市	5月8日	秋田県歯科医療専門学校	専門学生	43	2.5	(支) 稲岡	
	5月11日	秋田県歯科医療専門学校	専門学生	44	3	(支) 稲岡	
	5月25日	秋田県歯科医療専門学校	専門学生	45	3	(支) 稲岡	
	6月6日	秋田県歯科医療専門学校	専門学生	43	3	(支) 稲岡	
	6月8日	日本赤十字社秋田県支部	奉仕団員 一 般	48	3	(支) 稲岡	
	6月9日	秋田県歯科医療専門学校	専門学生	43	3	(支) 稲岡	
	6月16日	秋田県歯科医療専門学校	専門学生	43	3	(支) 稲岡 (ボ) 伊藤	
	6月22日	秋田県歯科医療専門学校	専門学生	44	3	(支) 稲岡 (ボ) 伊藤	
	6月23日	秋田県歯科医療専門学校	専門学生	44	3	(支) 稲岡 (ボ) 伊藤	
	6月28日	秋田県歯科医療専門学校	専門学生	44	3	(支) 稲岡	
	8月2日 ～3日	日本赤十字秋田短期大学	短 大 生	18	12	(短) 佐藤	18
	8月7日 ～8日	日本赤十字秋田看護大学	大 学 生	64	12	(看) 佐藤	64
	8月25日	秋田県歯科医療専門学校	専門学生	43	3	(支) 稲岡	
	9月12日	日赤秋田県支部	奉仕団員 一 般	18	3	(支) 稲岡	
	9月28日	秋田県年金受給者協会	一 般	30	1	(病) 佐藤幸	
	9月29日	川尻地区保健推進会	一 般	25	1.5	(支) 稲岡	
	10月18日	新屋地区社会福祉協議会	奉仕団員 一 般	25	1	(支) 稲岡	
	10月26日	日本赤十字社秋田県支部	奉仕団員	78	0.5	(支) 稲岡	
	11月16日	社会福祉協議会上北手地区	奉仕団員 一 般	16	1	(ボ) 伊藤	
	11月22日	秋田県赤十字血液センター	一 般	30	0.5	(血) 若林	
	2月16日	秋田市雄和赤十字奉仕団	奉仕団員	20	1.5	(支) 稲岡	
	2月26日	手話サークルたんぽぽ	一 般	10	1.5	(支) 稲岡	
	2月29日	秋田県歯科医療専門学校	専門学生	36	3	(支) 稲岡	
横 手 市	6月8日	日赤秋田県支部日赤横手市地区	奉仕団員 一 般	50	3	(支) 稲岡	
	9月21日	日赤横手市地区大雄分区	奉仕団員	32	1	(支) 稲岡	
男 鹿 市	7月7日	日赤男鹿市地区	奉仕団員 一 般	17	1	(ボ) 高橋	
	9月5日	日赤男鹿市地区	奉仕団員 一 般	15	1	(病) 白渡	
湯 沢 市	11月27日	湯沢市	一 般	72	1	(支) 稲岡	
由 利 本 荘 市	9月8日	日赤由利本荘市地区由利分区	奉 仕 団 員・一 般	50	1	(支) 稲岡	
	11月22日	本荘ライオンズクラブ	一 般	25	0.5	(血) 若林	
大 仙 市	9月9日	日赤秋田県支部	奉仕団員 一 般	22	0.5	(支) 稲岡	
	11月16日	日赤大仙市地区仙北分区	奉仕団員 一 般	25	1	(支) 稲岡	
北 秋 田 市	5月9日	北秋田市地区赤十字奉仕団	奉仕団員	107	1	(支) 稲岡	
	8月22日	日赤秋田県支部日赤北秋田市地区	奉仕団員 一 般	41	3	(支) 稲岡	
	8月30日	日赤北秋田市地区	一 般	41	1	(支) 稲岡	
	8月30日	日赤北秋田市地区	一 般	34	1	(支) 稲岡	
	10月4日	秋田県年金受給者協会	一 般	60	1	(病) 伊藤	

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
北 秋 田 市	11月13日	北秋田市森吉赤十字奉仕団	奉仕団員	55	1.5	(支) 稲岡	
に か ほ 市	9月15日	日赤秋田県支部 日赤にかほ市地区	奉仕団員 一 般	39	1	(支) 稲岡	
仙 北 市	9月26日	日赤仙北市地区田沢湖分区	一 般	10	1.5	(支) 稲岡	
	11月12日	消防団員等 公務災害補償等共済基金	一 般	53	1	(ボ) 新野	
	3月1日	仙北市角館町赤十字奉仕団	奉仕団員	53	1.5	(支) 稲岡	
三 種 町	10月15日	三種町山本赤十字奉仕団	奉仕団員	50	2	(ボ) 伊藤	
八 峰 町	9月5日	八峰町峰浜赤十字奉仕団	奉仕団員	150	1.5	(支) 稲岡	
	10月10日	八峰町八森赤十字奉仕団	奉仕団員	18	1.5	(支) 稲岡	
五 城 目 町	11月28日	日赤五城目町分区	一 般	18	1	(病) 伊藤	
美 郷 町	11月22日	美郷町赤十字奉仕団	奉仕団員 一 般	28	1	(支) 稲岡	
羽 後 町	2月28日	日赤羽後町分区	奉仕団員	21	1.5	(支) 稲岡	
岩 手 県	3月6日	日赤岩手県支部	奉仕団員	52	1.5	(支) 稲岡	
計	49回			1,992	104.5		82

(2) 災害時高齢者生活支援講習

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員
秋 田 市	5月12日	秋田県歯科医療専門学校	専門学生	44	3	(支) 稲岡
	2月14日	秋田市南部市民サービスセンター	一 般	25	1.5	(支) 稲岡
	2月20日	飯島サンパーク町内公民館	一 般	32	1.5	(支) 稲岡
	2月21日	秋田市南部市民サービスセンター	一 般	32	1.5	(支) 稲岡
横 手 市	7月11日	秋田県立衛生看護学院	専門学生	40	3	(支) 稲岡
湯 沢 市	5月24日	湯沢市立山田中学校	中 学 生 教 職 員	75	1	(支) 稲岡・碓谷
大 仙 市	2月8日	日赤大仙市地区太田分区	奉仕団員	15	2	(支) 稲岡
仙 北 市	3月8日	仙北市西木町赤十字奉仕団	奉仕団員	20	2	(支) 稲岡
三 種 町	9月13日	三種町立琴丘中学校	中 学 生 教 職 員	30	1.5	(支) 稲岡
計	9回			313	17	

※健康生活支援講習全体で、58回、受講者数2,305人、講習時間121.5時間であった。

- ・指導員欄の(支)は支部職員、(病)は赤十字病院職員、(血)は血液センター職員、(看)は日赤看護大職員、(短)は日赤短大職員、(ボ)はボランティア指導員を表す。
- ・資格取得者数欄は支援員養成講習(12時間)を修了し、検定の結果、「支援員」に合格した者の数を表す。
- ※新型コロナウイルスの感染拡大による安全確保の観点からオンライン講習の実施。(WEB)と記入。
- ・資格取得者数欄は支援員養成講習(12時間)を修了し、検定の結果、「支援員」に合格した者の数を表す。

(3) 指導員研修会

日本赤十字社救急法等講習規則施行細則第8条に基づく指導員研修を次のとおり実施した。

期 日 6月7日

会 場 秋田県社会福祉会館 9階第3会議室

参加者数 24人

- 研修内容
- ・「避難所生活支援講習」の紹介
 - ・地域包括ケアへの日赤秋田県支部の貢献について
 - ①「フレイル予防養成サポーター講座」
 - ②「いのちを守るBOX」
 - ・「人生のエンディングについて考える」内容の検討

(4) 令和5年度健康生活支援講習講師研修会

期 日 12月19日～20日

参 加 者 健康生活支援講習講師 稲岡 一枝

4 幼児安全法

子どもの成長・発達を理解し、子どもに起こりやすい事故に対する応急手当の方法と、事故防止、家庭内での看護の方法を指導する幼児安全法の講習を次のとおり実施した。

(1) 一般普及講習及び短期講習の開催状況

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
秋 田 市	6月16日	あきた保育園	保 育 士	12	1.25	(支) 碓谷	
	6月26日	秋田駅東保育園	保 育 士	10	1.5	(支) 碓谷	
	7月4日 7月5日	日本赤十字秋田短期大学	短 大 生	15	12	(支) 稲岡・碓谷 (ボ) 伊藤	15
	7月8日	あきたこどもの森	保 育 士	10	1	(ボ) 野中	
	7月11日	秋田市南部市民サービスセンター	保 護 者	10	1	(支) 碓谷	
	8月19日 8月20日	日本赤十字社秋田県支部	一 般	11	12	(支) 稲岡(乳) 高杉 (ボ) 伊藤・長内・大谷	11
	9月6日	秋田駅東保育園	保 育 士	10	1.5	(乳) 佐々木	
	9月28日	勝平保育園	保 育 士	15	1.5	(支) 碓谷	
	9月29日	勝平保育園	保 育 士	13	1.5	(支) 碓谷	
	10月7日	日本赤十字社秋田県支部	高 校 生	4	2	(支) 碓谷	
	10月29日	秋田県健康福祉部 地域・家庭福祉課	一 般	11	0.5	(乳) 水澤	
	11月9日	あきた保育園	保 育 士	11	1.5	(支) 碓谷	
	11月21日	白百合保育園	保 育 士	14	1.5	(支) 碓谷	
	11月22日	白百合保育園	保 育 士	14	1.5	(支) 碓谷	
	12月5日 12月6日	日本赤十字秋田看護大学	大 学 生	38	12	(支) 稲岡・碓谷 (看) 児玉・鈴木 (ボ) 伊藤・長内・深澤	38
	12月12日 12月13日	日本赤十字秋田看護大学	大 学 生	37	12	(支) 稲岡・碓谷 (看) 児玉・鈴木	37
	12月20日 12月22日	日本赤十字秋田看護大学	大 学 生	3	12	(看) 児玉・鈴木	3
	12月20日	こひつじ保育園	保 育 士	11	1.5	(支) 碓谷	
	12月21日	こひつじ保育園	保 育 士	13	1.5	(支) 碓谷	
	3月9日	秋田赤十字病院	保 育 士	7	1	(病) 竹澤	
横 手 市	6月11日	秋田県健康福祉部	一 般	20	0.5	(乳) 水澤	
鹿 角 市	6月9日	八幡平なかよしセンター	保 育 士	10	1	(ボ) 長内・糸屋	
	6月9日	八幡平なかよしセンター	保 育 士	11	1	(ボ) 長内・糸屋	
	8月5日	鹿角市社会福祉協議会 鹿角市ボランティア連絡協議会	一 般	51	2	(ボ) 長内	
仙 北 市	6月6日	仙北市	保 護 者	11	1	(支) 碓谷	
	12月5日	仙北市	保 護 者	10	1	(支) 碓谷	
大 湯 村	6月26日	日赤大湯村分区	一 般	9	0.5	(ボ) 長内・糸屋	
	1月17日	日赤大湯村分区	保 育 士	13	1.5	(支) 碓谷	
計	28回			404	88.75		104

(2) 避難所生活支援講習

開催地	期 日	主 催 者	受講者別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員
男 鹿 市	6月18日	日赤男鹿市地区	公的団体	22	1	(支) 碓谷
鹿 角 市	8月5日	鹿角市社会福祉協議会 鹿角市ボランティア連絡協議会	関係施設	51	2	(ボ) 長内
計	2回			73	3	

※幼児安全法全体で、30回、受講者数477人、講習時間91.75時間であった。

※指導員欄の(支)は支部職員、(病)は赤十字病院職員、(看)は日赤看護大職員、(乳)は赤十字乳児職員、(ボ)はボランティア指導員を表す。

※資格取得者数欄は支援員養成講習(10時間)を終了し、検定の結果、「支援員」に合格した者の数を表す。

(3) 指導員研修会

日本赤十字社救急法等講習規則施行細則第8条に基づく指導員研修を、次のとおり実施した。

期 日 5月13日

会 場 秋田県社会福祉会館 9階第3会議室

参加者数 27人

研修内容 ・ 避難所生活支援講習ハンドブック 災害が起こったときに
・ 新小冊子の乳幼児の内容の伝達および実技の確認
・ 子どもの最長発達と事故予防の検討
・ 乳幼児の一次救命処置 子どもの応急手当

(4) 令和5年度幼児安全法講師研修会

期 日 12月18日～19日

参 加 者 幼児安全法講師 稲岡 一枝

5 水上安全法

水の事故から生命を守るための知識や技術を指導する水上安全法の講習を次のとおり実施した。

(1) 一般普及講習及び短期講習の開催状況

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
秋 田 市	7月1日	向浜スポーツゾーン総合事務所	一 般	20	1.5	(ボ) 伊藤三・大塚	
	7月7日 ～9日	秋田県赤十字水上安全法奉仕団	一 般	13	14	※別記1のとおり	12
能 代 市	7月11日	能代市立第五小学校	小 学 生	22	1	(ボ) 佐藤勇・伊藤三 秋山里	
	7月14日	能代市立第四小学校	小 学 生	24	1	(ボ) 糸屋幸・長内 大塚・秋山里 伊藤三	
	7月14日	能代市立第四小学校	小 学 生	24	1	(ボ) 糸屋幸・長内 大塚・秋山里 伊藤三	
	7月14日	能代市立第四小学校	小 学 生	23	1	(ボ) 糸屋幸・長内 大塚・秋山里 伊藤三	
	7月18日	能代市立浅内小学校	小 学 生	30	1	(ボ) 佐藤勇・糸屋幸 大塚	
	7月18日	能代市立浅内小学校	小 学 生	30	1	(ボ) 佐藤勇・糸屋幸 大塚	
	8月30日	能代市立湊城西小学校	小 学 生	18	1	(ボ) 佐藤勇・大塚・ 伊藤三	
	8月30日	能代市立湊城西小学校	小 学 生	15	1	(ボ) 佐藤勇・大塚 伊藤三	
鹿 角 市	9月1日	鹿角市立十和田小学校	小 学 生	51	1	(ボ) 長内・糸屋幸 糸屋賢	
	9月1日	鹿角市立十和田小学校	小 学 生	50	1	(ボ) 長内・糸屋幸 糸屋賢	
北 秋 田 市	7月22日	北秋田市教育委員会 日赤北秋田市地区	プ ー ル 監 視 員	34	2	(ボ) 糸屋幸・糸屋賢 長内	
に か ほ 市	7月28日	にかほ市象潟B&G海洋センター	プ ー ル 監 視 員	12	2	(ボ) 銭谷・三森	
小 坂 町	6月7日	小坂町教育委員会	教 員 プ ー ル 監 視 員	14	1.5	(ボ) 長内	
三 種 町	9月7日	三種町立琴丘小学校	小 学 生	21	1	(ボ) 糸屋幸・糸屋賢 伊藤三・大塚 秋山里	
	9月7日	三種町立琴丘小学校	小 学 生	42	1	(ボ) 糸屋幸・糸屋賢 伊藤三・大塚 秋山里	
八 峰 町	9月8日	八峰町立八森小学校	小 学 生	32	1	(ボ) 佐藤勇・糸屋幸 大塚・秋山里	
	9月8日	八峰町立八森小学校	小 学 生	31	1	(ボ) 佐藤勇・糸屋幸 大塚・秋山里	
大 潟 村	6月26日	日赤大潟村分区	プ ー ル 監 視 員	13	1.5	(ボ) 糸屋幸・長内 三森・大塚	
計	20回			519	36.5		12

※指導員欄の(病)は赤十字病院職員、(ボ)はボランティア指導員を表す。

※資格取得者数欄は救助員養成講習(14時間)を修了し、検定の結果「救助員」に合格した者の数を表す。

※同日、同主催者によって開催されている講習は、対象者が異なる。

※別記1 (病) 伊藤衣 (ボ) 畠山・佐藤勇・三森・銭谷・小柳・糸屋幸・糸屋賢・今井・長内
(ボ) 佐藤巧・大塚・佐々木恵・秋山克・秋山里・伊藤三・藤田

(2) 指導員研修会の実施

日本赤十字社救急法等講習規則施行細則第8条に基づく指導員研修を、次のとおり実施した。

期 日 6月4日

会 場 秋田県立総合プール

参加者数 16人

研修内容・令和4年度講習事業の報告及び令和5年度講習普及等について

・教本改訂について

・救助員養成講習における実技の確認について

6 雪上安全法

スキーなどを安全に行うための応急手当を含めた具体的な知識や技術を指導する雪上安全法の講習を次のとおり実施した。

(1) 一般普及講習の開催状況

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
秋田市	2月17日	日赤秋田看護大学・短期大学 赤十字教育委員会 赤十字防災ボランティア ステーション	大 学 生 短 大 生	40	7	(病) 竹澤	40
計		1回		40	7		40

※指導員欄の(病)は赤十字病院職員を表す。

※資格取得者数欄は救助員養成講習(7時間)を修了し、検定の結果「救助員」に合格した者の数を表す。

7 救急法等指導員登録状況

(令和6年3月31日現在)

講 習 別	人 数 (人)		
	職員指導員	ボランティア指導員	計
救 急 法	35	46	81
健 康 生 活 支 援 講 習	21	9	30
水 上 安 全 法	5	18	23
幼 児 安 全 法	17	14	31
雪 上 安 全 法	1	0	1
防 災 セ ミ ナ ー	18	19	37
計	97	106	203

8 赤十字奉仕団等

1 組織状況

(令和6年3月31日現在)

奉 仕 団 名		団数 (団)	団 員 数 (人)		
			男	女	計
地 域 奉 仕 団		53	1, 118	10, 865	11, 983
特 別 奉 仕 団	青 年 奉 仕 団	6	23	92	115
	秋 田 県 点 訳 赤 十 字 奉 仕 団	1	0	3	3
	秋 田 県 赤 十 字 芸 能 奉 仕 団	1	9	55	64
	秋田県アマチュア無線赤十字奉仕団	1	24	2	26
	秋 田 県 赤 十 字 水 上 安 全 法 奉 仕 団	1	13	5	18
	秋 田 県 赤 十 字 救 急 法 奉 仕 団	1	28	17	45
	秋 田 県 赤 十 字 災 害 救 護 奉 仕 団	1	6	4	10
	秋 田 県 青 少 年 赤 十 字 賛 助 奉 仕 団	1	87	17	104
	特 殊 奉 仕 団 計	7	167	103	270
合 計		66	1, 308	11, 060	12, 368

(1) 地域奉仕団

(令和6年3月31日現在)

奉 仕 団 名	結成年月日	委員長氏名	分団数 (団)	班 数 (班)	団員数 (人)		
					男	女	計
秋田市赤十字奉仕団	S23. 11. 20	佐 竹 睦 子	12	0	0	204	204
秋田市雄和赤十字奉仕団	S32. 03. 26	鈴 木 一 枝	0	0	0	41	41
能代市赤十字奉仕団	S34. 04. 01	檜 森 幸 子	19	71	10	338	348
能代市二ツ井町赤十字奉仕団	S44. 07. 05	齊 藤 正 子	7	0	7	310	317
横手市赤十字奉仕団	S45. 04. 01	嶋 田 陽 子	5	26	41	1, 642	1, 683
大館市大館赤十字奉仕団	S33. 09. 17	佐 藤 明 子	10	0	0	1, 350	1, 350
大館市比内赤十字奉仕団	S35. 06. 24	安 部 正 子	4	0	0	630	630
大館市田代赤十字奉仕団	S36. 06. 01	佐 藤 かよ子	0	0	0	130	130
男鹿市赤十字奉仕団	S40. 04. 01	吉 田 萬里子	7	14	0	320	320
湯沢市赤十字奉仕団	S29. 04. 01	北 村 ルミ子	4	0	0	237	237
鹿角市赤十字奉仕団	S27. 06. 01	柳 沢 愛 子	0	0	0	44	44
由利本荘市本荘赤十字奉仕団	S37. 04. 01	林 悦 子	2	0	0	31	31
由利本荘市本荘赤十字奉仕団	S48. 04. 01	鈴 木 とみ子	2	2	0	140	140
由利本荘市大内赤十字奉仕団	S48. 12. 01	木 原 由美子	0	0	0	19	19

奉 仕 団 名	結成年月日	委員長氏名	分団数 (団)	班 数 (班)	団員数 (人)		
					男	女	計
由利本荘市東由利赤十字奉仕団	S38. 04. 25	阿 部 タツ子	6	0	0	33	33
由利本荘市島海赤十字奉仕団	S33. 05. 31	小 松 こず江	3	0	0	66	66
由利本荘市矢島赤十字奉仕団	S33. 06. 18	土 田 典 子	1	0	0	40	40
由利本荘市由利赤十字奉仕団	S32. 04. 01	佐 藤 美保子	0	0	11	16	27
由利本荘市西目赤十字奉仕団	S45. 10. 01	潟 保 博 子	2	2	0	59	59
潟 上 市 赤 十 字 奉 仕 団	H17. 03. 22	小 玉 喜久子	2	28	0	489	489
大仙市大曲赤十字奉仕団	S43. 04. 01	高 橋 要	0	0	54	40	94
大仙市仙北赤十字奉仕団	S33. 05. 15	佐 藤 あや子	1	63	5	142	147
大仙市中仙赤十字奉仕団	S30. 03. 31	高 橋 トモ子	4	0	0	309	309
大仙市太田赤十字奉仕団	S30. 03. 30	高 橋 千恵子	3	0	2	74	76
大仙市西仙北赤十字奉仕団	S37. 04. 01	寺 田 要 子	9	179	29	133	162
大仙市神岡赤十字奉仕団	S34. 04. 01	小 林 陽 子	0	0	0	20	20
大仙市協和赤十字奉仕団	S33. 08. 02	大 嶋 弘 子	1	0	3	119	122
大仙市南外赤十字奉仕団	S45. 04. 01	高 橋 妊 子	1	45	22	60	82
北秋田市鷹巣赤十字奉仕団	S26. 05. 01	中 嶋 洋 子	8	0	0	629	629
北秋田市森吉赤十字奉仕団	S37. 04. 01	松 橋 セツ子	24	24	0	312	312
北秋田市阿仁赤十字奉仕団	S33. 12. 02	伊 東 由美子	13	0	0	171	171
北秋田市合川赤十字奉仕団	S30. 04. 01	福 岡 史 恵	10	72	0	198	198
にかほ市金浦赤十字奉仕団	S62. 06. 02	白 瀬 美弥子	0	0	0	18	18
にかほ市仁賀保赤十字奉仕団	S62. 11. 27	村 上 和 美	0	0	0	68	68
にかほ市象潟赤十字奉仕団	S53. 06. 01	阿 曾 綾 子	0	0	0	16	16
仙北市角館町赤十字奉仕団	S32. 04. 01	赤 川 和 子	4	173	63	110	173
仙北市田沢湖赤十字奉仕団	S33. 04. 01	佐 藤 リ ヨ	3	0	39	82	121
仙北市西木町赤十字奉仕団	S33. 04. 25	門 脇 トキヨ	1	0	0	31	31
小 坂 町 赤 十 字 奉 仕 団	S32. 04. 01	小笠原 シゲ子	1	1	2	12	14
上小阿仁村赤十字奉仕団	S23. 04. 01	伊 藤 明 美	16	0	0	311	311
藤 里 町 赤 十 字 奉 仕 団	S23. 04. 01	淡 路 高 江	0	0	0	210	210
三種町琴丘赤十字奉仕団	S55. 03. 23	鎌 田 まさ子	0	0	37	129	166
三種町山本赤十字奉仕団	S52. 03. 14	近 藤 きぬ子	1	105	13	112	125
三種町八竜赤十字奉仕団	S34. 04. 01	堀 田 キミ子	0	0	0	48	48
八峰町八森赤十字奉仕団	S48. 05. 01	高 崎 修 子	3	0	0	89	89
八峰町峰浜赤十字奉仕団	S43. 04. 01	森 田 葉 子	0	16	0	41	41
五城目町赤十字奉仕団	S23. 04. 26	澤田石 美恵子	3	3	0	63	63
八郎潟町赤十字奉仕団	S45. 07. 01	佐 藤 操	0	0	0	48	48
井 川 町 赤 十 字 奉 仕 団	S30. 02. 01	片 野 みとる	17	0	0	244	244
大潟村赤十字奉仕団	S44. 11. 01	松 崎 信 子	1	5	0	29	29
美 郷 町 赤 十 字 奉 仕 団	H16. 11. 01	森 元 博 美	3	143	131	250	381
羽 後 町 赤 十 字 奉 仕 団	S33. 09. 01	村 上 與 子	7	65	340	288	628
東成瀬村赤十字奉仕団	S33. 07. 30	鈴 木 キミコ	16	89	309	320	629
計	53 団		236	1, 126	1, 118	10, 865	11, 983

(2) 青年赤十字奉仕団

(令和6年3月31日現在)

奉 仕 団 名	結成年月日	委員長氏名	副委員長氏名	団員数(人)		
				男	女	計
秋田県青年赤十字奉仕団	S38. 04. 01	三 浦 泰 輔	佐々木 恵 子	8	11	19
日赤秋田看護大・短大 学 生 赤 十 字 奉 仕 団	H08. 11. 29	熊 谷 永 遠	伊 藤 采 音	8	69	77
ノースアジア大学厚生 委 員 会 学 生 赤 十 字 奉 仕 団	H13. 04. 26	小 松 明 希	草 薨 友 愛	3	3	6
秋 田 県 立 大 学 学 生 赤 十 字 奉 仕 団	H18. 06. 01	三 村 保 翔	戸 毛 穂乃美	2	2	4
秋 田 大 学 学 生 赤 十 字 奉 仕 団	H27. 04. 26	草 薨 理 天		1	0	1
国 際 教 養 大 学 学 生 赤 十 字 奉 仕 団	R03. 12. 03	天 野 友 樹	大 西 優 奈	1	7	8
計		6 団		23	92	115

(3) 特殊赤十字奉仕団

(令和6年3月31日現在)

奉 仕 団 名	結成年月日	委員長氏名	副委員長氏名	団員数(人)		
				男	女	計
秋田県点訳赤十字奉仕団	S41. 11. 01	鈴 木 敦 子	吉 田 圭 子	0	3	3
秋田県赤十字芸能奉仕団	S42. 05. 04	小 野 敏実都	中 村 久 夫 石 塚 喜 奈	9	55	64
秋 田 県 ア マ チ ュ ア 無 線 赤 十 字 奉 仕 団	S46. 12. 19	石 川 和 男	小 林 康 司	24	2	26
秋 田 県 赤 十 字 水 上 安 全 法 奉 仕 団	S53. 06. 10	三 森 幹 男	銭 谷 郁 雄 大 塚 貴 代	13	5	18
秋 田 県 赤 十 字 救 急 法 奉 仕 団	S60. 06. 28	田 口 昇	佐々木 清 志 長 内 昭 継 竹 内 健 司	28	17	45
秋 田 県 赤 十 字 災 害 救 護 奉 仕 団	H11. 08. 28	八 代 千 春	高 橋 邦 明 梅 田 正 弘	6	4	10
秋田県青少年赤十字 賛 助 奉 仕 団	H15. 04. 01	眞井田 恭 雄	柴 田 正 臣 伊 藤 勲 夫 佐 藤 朋 夫	87	17	104
計		7 団		167	103	270

2 会議・研修会等

(1) 赤十字奉仕団秋田県支部委員会

期 日 4月13日
会 場 秋田県社会福祉会館 9階第3会議室
参 加 者 地域奉仕団 14人
 特殊奉仕団 6人
内 容 奉仕団活動報告
 役員改選

(2) 赤十字奉仕団委員長会議

期 日 4月13日
会 場 秋田県社会福祉会館 10階大会議室
参 加 者 地域奉仕団 36人
 特殊奉仕団 6人
内 容 赤十字奉仕団秋田県支部委員会報告
 令和4年度事業概要
 令和5年度事業計画
 赤十字会員増強運動について
 活動事例発表
 ・仙北市角館町赤十字奉仕団委員長 赤川 和子
 ・日赤仙北市地区 武蔵 弘康
 グループワーク
 フレイル予防サポーター養成講座について

(3) 支部赤十字奉仕団担当者初任者研修会 オンライン形式

期 日 4月14日
会 場 日赤秋田県支部 研修室
参 加 者 日赤秋田県支部職員 1人

(4) 赤十字奉仕団中央委員会

期 日 6月1日～2日
会 場 日本赤十字社
参 加 者 中嶋 洋子
活動事例の報告（地域包括ケア）
 仙北市角館町赤十字奉仕団 赤川 和子
 オブザーバー参加…日赤秋田県支部職員 稲岡 一枝

(5) 地域包括ケア事業担当者会議（第1回）オンライン形式

期 日 5月30日

会 場 日赤秋田県支部 研修室

参 加 者 日赤秋田県支部職員 1人

(6) 赤十字奉仕団支部指導講師会議

期 日 6月27日

主 催 者 日赤秋田県支部

会 場 日赤秋田県支部 研修室

参 加 者 支部指導講師 4人

日赤秋田県支部職員 4人

内 容 令和5年度の活動について協議

(7) 令和5年度赤十字奉仕団第1ブロック委員長会議及び
第1ブロック奉仕団担当者会議

期 日 10月3日～4日

主 催 者 日赤青森県支部

会 場 日赤青森県支部5階大会議室

参 加 者 委 員 長 中嶋 洋子

日赤秋田県支部職員 1人

内 容 各支部提出協議事項・照会事項について

(8) 赤十字奉仕団リーダーシップ研修会

期 日 10月26日～27日

会 場 秋田温泉 さとみ

参 加 者 地域奉仕団 秋田県支部 54人

地域奉仕団 岩手県支部 5人

特別奉仕団 2人

支部委員会 5人

支部指導講師 3人

日本赤十字社本社 3人

日赤岩手県支部 1人

日赤秋田県支部職員 7人

内 容 地域包括ケアシステムへの貢献について

日赤秋田県支部職員 稲岡 一枝

ギャラリートークの説明

日赤秋田県支部指導講師 糸屋 賢

赤十字奉仕団活動報告

- ・ 八郎潟町赤十字奉仕団 佐藤 操
- ・ 上小阿仁村赤十字奉仕団 伊藤 明美
- ・ 花巻市花巻地区赤十字奉仕団 阿部 たか子
- ・ 金ヶ崎町赤十字奉仕団 氏家 富士子
- ・ 一関市千厩赤十字奉仕団 五嶋 秋子

奉仕団活動で役立つ実技

日赤秋田県支部職員 稲岡 一枝
川上 恵

グループディスカッション

「自分たちが、今出来ること」

日赤秋田県支部職員 菊地 雄大

(9) 令和 5 年度赤十字奉仕団支部指導講師研修会

期 日 1 月 26 日～28 日

会 場 日本赤十字社

参 加 者 糸屋 賢

(1 0) 令和 5 年度赤十字奉仕団委員長・事務担当者会議

期 日 3 月 6 日

会 場 ホテルメトロポリタン盛岡

参 加 者 岩手県赤十字奉仕団委員長 30 人

日赤地区・分区事務担当者 17 人

日赤岩手県支部職員 4 人

日赤秋田県支部職員 2 人

講 演 「地域包括ケアへの貢献」日赤秋田県支部の取り組み
「健康寿命を延ばすためにフレイル対策をしましょう」

日赤秋田県支部 稲岡 一枝

(1 1) 赤十字奉仕団秋田県支部委員会正副委員長会議

期 日 3 月 13 日

会 場 日赤秋田県支部 研修室

参 加 者 支部委員会正副委員長 5 人

日赤秋田県支部職員 3 人

3 活動状況等

(1) 地域奉仕団

ア 市地区並びに町村分区ごとに組織している地域奉仕団はそれぞれの地域のニーズに応じて、主として次の事業に奉仕した。

- ・ 赤十字会員増強運動並びに活動資金収納に関する奉仕
- ・ 献血推進事業に関する奉仕
- ・ 災害救護業務に関する奉仕
- ・ 社会福祉施設への訪問
- ・ 地域高齢者支援に関する奉仕
- ・ その他社会福祉に関する奉仕
- ・ その他

イ 奉仕団活動の情報共有に役立てていただきたく、各地域における活動を当支部ホームページに紹介した。

奉仕団名	タイトル
秋田県赤十字奉仕団 (地域・特殊)	令和 5 年度赤十字奉仕団委員長・日赤地区分区事務担当者会議を実施
秋田市赤十字奉仕団	令和 5 年度も元気にスタート 秋田市赤十字奉仕団総会を実施！
秋田県北秋田地区 (北秋田市・上小阿仁村)	～コミュニティづくりを目指した活動を一層強化する～ 第 53 回 秋田県赤十字奉仕団北秋田地区大会
秋田市赤十字奉仕団	ハートラちゃんワッペンを子どもたちと作りました。 (赤十字キッズタウン 2023) 秋田市赤十字奉仕団&秋田北高 JRC 部！
能代市二ツ井町赤十字奉仕団	子どもたちから笑顔をいただき、元気をたくさんいただきました。
赤十字奉仕団支部指導講師	充実した研修を目指して！ 赤十字奉仕団支部指導講師会議実施しました。
秋田市赤十字奉仕団明德分団	今年も皆さんのお役に立つように心を込めて清拭布を作成しました。
能代市二ツ井町赤十字奉仕団	きみまち坂公園で清掃奉仕に汗流す
八峰町赤十字奉仕団	八峰町赤十字奉仕団、給水活動をしました。
秋田市赤十字奉仕団	炊き出し支援を行いました。
	秋田県大雨災害の義援金募金活動をしました。
	赤十字奉仕団等ボランティア研修会 オンライン参加！
	秋田県大雨災害への義援金を届けてくださいました！

奉仕団名	タイトル
能代市二ツ井町赤十字奉仕団 能代市赤十字奉仕団 八峰町赤十字奉仕団	能代市・八峰町赤十字奉仕団交流研修会 使命・役割改めて認識
能代市二ツ井町赤十字奉仕団	きみまちの里フェスティバルで赤十字活動を今年もアピール！
三種町赤十字奉仕団	町民祭で赤十字活動を今年もアピール！
秋田県赤十字奉仕団（地域）	赤十字奉仕団リーダーシップ研修会 ～岩手県の奉仕団の皆さんと情報交換しました！～
岩手県赤十字奉仕団	岩手県花巻市花巻地区赤十字奉仕団からプレゼントが届きました。
秋田市赤十字奉仕団	日本赤十字社を訪ねて・・・ ～秋田市赤十字奉仕団の感想です。～
能代市二ツ井町赤十字奉仕団	今年もスタート 「海外助け合い」募金活動！
秋田市赤十字奉仕団 仙北市赤十字奉仕団	12月7日 秋田市赤十字奉仕団・仙北市赤十字奉仕団連絡協議会交流会を実施しました！
大潟村赤十字奉仕団	ふれあい交流会を実施しました。
仙北市角館町赤十字奉仕団	中町町内で行われた座談会の中で「いのちを守るBOX」を紹介
能代市二ツ井町赤十字奉仕団	能登半島地震への義援金募金活動 少しでも被災地支援につながることを願って実施！
北秋田市合川赤十字奉仕団	救いたい命をすくう救命救急
北秋田市阿仁赤十字奉仕団	阿仁学園の皆さんと活動を実施しました！ “なべっこ会” “家庭科 ミシン掛け”
北秋田市阿仁赤十字奉仕団	久しぶりに海外助け合い募金活動を実施！
にかほ市仁賀保赤十字奉仕団	クリーンアップ作戦
28回	

ウ 地域包括ケアシステムへの貢献の推進

- ・地域奉仕団を対象として、県内で地域包括ケアに関する生活支援や介護予防に積極的に取り組んでいる自治会や各種団体から実践例を学ぶ勉強会を開催する。
- ・「フレイル予防サポーター養成講座」を開催し、フレイル予防に関する取り組みを地域に広める活動を行う。

・フレイル予防サポーター養成講座

No.	地域	期日	会場	受講者数 (人)	講師
1	中央	6月8日	秋田県社会福祉会館	48	秋田県庁 秋田赤十字病院 日赤秋田県支部 田所大典 村井 純 稲岡一枝
2	県南	7月13日	浅舞地区交流センター	41	秋田県庁 秋田赤十字病院 秋田赤十字病院 日赤秋田県支部 田所大典 坂本和寛 福島 徹 稲岡一枝
3	県北	8月22日	北秋田市民ふれあい プラザコムコム	41	秋田県庁 秋田赤十字病院 秋田赤十字病院 日赤秋田県支部 田所大典 南波 晃 福島 徹 稲岡一枝
4	中央	9月12日	秋田県社会福祉会館	18	秋田県庁 秋田赤十字病院 秋田赤十字病院 日赤秋田県支部 田所大典 村井 純 児玉芙美子 稲岡一枝
5	中央	9月15日	金浦公民館	39	秋田県庁 秋田赤十字病院 秋田赤十字病院 日赤秋田県支部 田所大典 坂本和寛 福島 徹 稲岡一枝
5 回				187	

・フレイル予防サポーター活動（支部から健康生活支援講習指導員派遣）

No.	期日	赤十字奉仕団	会場	受講者数 (人)	フレイル予防 サポーター
1	11月13日	北秋田市森吉 赤十字奉仕団	森吉コミュニティ センター	55	松橋セツ子委員長 他 2 人
2	11月16日	秋田市赤十字 奉仕団	上北手地区 コミュニティセンター	13	松本トシ子分団長 他 1 人
3	11月16日	大仙市仙北 赤十字奉仕団	史跡の里交流プラザ 「柵の湯」	25	佐藤あや子委員長 他 3 人
3 回				93	

・「地域包括ケアシステム」への貢献の様子を当支部ホームページに紹介した。

2月・「フレイル予防サポーター養成講座」作業チーム立ち上げました。
3月・テキスト作成のため、監修のお願いに行きました。 ■秋田県健康福祉部・秋田赤十字病院リハビリテーション科、栄養課
4月・赤十字奉仕団委員長会議・日赤地区分区事務担当者会議で、 仙北市角館町赤十字奉仕団による「和さろん」の事例報告後、 「フレイル予防サポーター養成講座」を紹介
「フレイル予防サポーター養成講座」案内チラシ完成。 明日は秋田市赤十字奉仕団総会で早速案内します。
地域包括ケア 植木鉢に新たな種が登場！
赤川委員長さん、赤十字奉仕団中央委員会で活動報告！
「フレイル予防サポーター養成講座」を実施しました。 県内各地から48名の参加！大盛況でした。
令和5年度 健康生活支援講習指導員研修会で 「地域包括ケアへの貢献で私たちができること」を検討しました。
「フレイル予防サポーター養成講座」を県南地区で実施しました。
令和5年度 フレイル予防サポーター養成講座終了しました。
地域包括ケアシステム ～本人の選択と本人・家族の心構え～のために 赤十字では「人生のエンディングについて考える」講習を実施しています。
北秋田市森吉赤十字奉仕団の「フレイル予防サポーター」活動開始！
大仙市仙北赤十字奉仕団の「フレイル予防サポーター」も活動開始！
秋田市赤十字奉仕団 上北手分団の「フレイル予防サポーター」も活動スタート！

エ その他特徴ある活動

(1) 第65回秋田市赤十字奉仕団総会

期 日 4月27日

会 場 秋田県社会福祉会館 10階大会議室

参 加 者 奉仕団員 70人

内 容 ・アンリーデュナンの像に献花

・励ましの言葉・メッセージ

秋田市地区長

日赤秋田県支部事務局長

秋田赤十字病院長

血液センター所長

(2) 第53回赤十字奉仕団秋田県北地区大会

期 日 5月9日
会 場 合川公民館
参 加 者 奉仕団員 107人
内 容 講演「人生のエンディングについて考える」

日赤秋田県支部 稲岡 一枝

(3) 赤十字キッズタウン 2023

期 日 5月28日
会 場 秋田赤十字看護大学・短期大学
参 加 者 秋田市赤十字奉仕団 15人
秋田北高校JRC部 5人
内 容 ハートラちゃんワッペン作り・ハートラちゃんの説明

(4) 秋田赤十字乳児院における奉仕活動

期 日 6月12日
会 場 秋田赤十字乳児院
参 加 者 能代市二ツ井町赤十字奉仕団 12人
日赤秋田県支部職員 2人
内 容 子どもたちのヘアカット・絵本の読み聞かせ
窓ふき

(5) 横手市大森赤十字奉仕団・大森婦人会合同研修会

期 日 7月12日
会 場 大森地区交流センター分館
参 加 者 横手市大森赤十字奉仕団・大森婦人会 29人
内 容 赤十字社の活動について
日赤秋田県支部事業推進課長 菊地雄大

(6) 能代市・八峰町赤十字奉仕団交流研修会

期 日 9月5日
会 場 湯らくの宿のしろ
参 加 者 能代市赤十字奉仕団 54人
能代市二ツ井町赤十字奉仕団 50人
八峰町八森赤十字奉仕団 18人
八峰町峰浜赤十字奉仕団 18人
日赤地区分区担当者 3人

赤十字奉仕団支部指導講師 1人

日赤秋田県支部職員 2人

内 容 ・ 手作り紙芝居「きた→じしん つなみ」「真昼の恐怖」
おはなしの会かもめ代表 山本 百合子
・ 講演「支援物資の輸送に奔走——日本海中部地震」
日赤秋田県支部嘱託 碓谷 寿朗
「人生のエンディングについて考える」
日赤秋田県支部参事 稲岡 一枝
・ 「交流レクリエーション」
日本レクリエーション協会公認インストラクター
伊藤 睦子・原田 千代子

(7) 日本赤十字秋田看護大学・短期大学の見学

期 日 9月12日

会 場 日本赤十字秋田看護大学・短期大学

参 加 者 大仙市赤十字奉仕団 22人

日赤大仙市地区分区担当者 9人

(8) 日本赤十字秋田看護大学・短期大学の見学

秋田赤十字病院ドクターヘリの見学

期 日 10月18日

会 場 日本赤十字秋田看護大学・短期大学

秋田赤十字病院ドクターヘリ格納庫

参 加 者 大仙市協和赤十字奉仕団 17人

日赤大仙市地区分区担当者 1人

(9) 秋田赤十字乳児院の見学

期 日 10月25日

会 場 秋田赤十字乳児院

参 加 者 由利本荘市鳥海赤十字奉仕団 19人

日赤由利本荘市地区鳥海分区 2人

(10) 日本赤十字社の見学

期 日 11月9日

会 場 日本赤十字社

参 加 者 秋田市赤十字奉仕団 11人

日赤秋田県支部 2人

(1 1) 日本赤十字秋田看護大学・短期大学の見学

期 日 11 月 20 日

会 場 日本赤十字秋田看護大学・短期大学

参 加 者 由利本荘市西目赤十字奉仕団 10 人
日赤由利本荘市地区西目分区 1 人

(1 2) 日本赤十字社見学

期 日 11 月 30 日

会 場 日本赤十字社

参 加 者 大潟村赤十字奉仕団 6 人

(1 3) 秋田市・仙北市赤十字奉仕団連絡協議会交流研修会

期 日 12 月 7 日

会 場 角館樺細工伝承館

参 加 者 秋田市赤十字奉仕団 6 人
仙北市赤十字奉仕団連絡協議会 8 人
日赤地区分区担当者 4 人
日赤秋田県支部 2 人

内 容 「記録的大雨 五城目町被災地支援」

秋田市赤十字奉仕団委員長 佐竹 睦子

「仙北市赤十字奉仕団連絡協議会各分区の取り組み
について」

仙北市角館町赤十字奉仕団委員長 赤川 和子

(2) 青年奉仕団

勤労青年や大学生等によって組織している青年奉仕団の活動内容は、次のとおりである。

ア 青年奉仕団全国協議会への参加

期 日 5 月 13 日

会 場 Web 会議

出 席 者 1 人

期 日 2 月 23 日

会 場 Web 会議

出 席 者 1 人

イ 第1ブロック統一キャンペーンへの参加

期 日 3月9日

会 場 Web会議

出席者 1人

ウ 青年奉仕団ボランティア基礎研修会への参加

期 日 11月25日

会 場 日赤秋田県支部 研修室

出席者 5人

エ その他

・献血への呼びかけ活動

(3) 特殊奉仕団

1) 点訳奉仕団

点訳技術の取得者によって組織している点訳奉仕団の活動内容は、次のとおりである。

ア 赤十字秋田の点訳

日赤秋田県支部が発行する広報誌「赤十字秋田」を点訳、音声訳、弱視の方のためには拡大複写し、秋田県視覚障害者福祉協会を通じて配布した。(2回発行)

イ 随時依頼のあったものの点訳

2) 芸能奉仕団

県内在住の芸能人等によって組織している芸能奉仕団の活動内容は、次のとおりである。

ア 赤十字奉仕団委員長会議への参加

期 日 4月13日

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 委員長 小野 敏実都

イ 仙北市角館赤十字奉仕団総会アトラクション

期 日 7月7日

会 場 グランデールガーデン

奉仕人員 11人

ウ 赤十字奉仕団リーダーシップ研修会アトラクション

期 日 10月27日

会 場 秋田温泉さとみ

奉仕人員 7人

エ 上小阿仁村沖田面集落大交流会アトラクション

期 日 11月8日

会 場 沖田面公民館

奉仕人員 20人

オ 男鹿市社会福祉大会アトラクション

期 日 2月23日

会 場 男鹿市文化会館

奉仕人員 9人

3) アマチュア無線奉仕団

災害時、有線及び携帯による通信が途絶えたとき、アマチュア無線の持つ機動性を活かして奉仕するため、有資格者によって組織しているアマチュア無線奉仕団の活動内容は次のとおりである。

ア 団員相互の通信訓練（感度交換）を随時実施した。

イ 他支部のアマチュア無線奉仕団員との通信訓練（感度交換）を以下のとおり実施した。

期 日	時 間	通 信 先 奉 仕 団
5月28日	9:00～11:00	鹿児島県赤十字アマチュア無線赤十字奉団
7月16日	9:00～11:00	北海道無線赤十字奉仕団協議会
9月 2日	10:00～12:00	鳥取県アマチュア無線赤十字奉仕団
9月 3日	13:00～15:00	日本赤十字社栃木県支部アマチュア無線奉仕団
10月28日	9:30～15:00	兵庫県無線赤十字奉仕団
11月 5日	9:00～11:00	和歌山県赤十字特別救護奉仕団
11月 5日	9:00～11:30	石巻市地区アマチュア無線クラブ赤十字奉仕団
11月 5日	9:30～11:00	宮崎県アマチュア無線赤十字奉仕団
11月26日	10:00～12:00	東京都特殊救護赤十字奉仕団

期 日	時 間	通 信 先 奉 仕 団
12月24日	10:00～11:00	愛知県赤十字無線奉仕団
3月17日	10:00～13:00	福岡県赤十字無線奉仕団
3月23日	10:00～12:00	神奈川県無線救急赤十字奉仕団
計		12回・10日

ウ 赤十字奉仕団委員長会議への参加

期 日 4月13日

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 委員長 石川 和男

4) 水上安全法奉仕団

ア 奉仕団主催講習会の実施

支部と連携し、講習会に指導員を派遣した。

救助員Ⅰ養成講習

期 日 7月7日～9日

会 場 秋田県立総合プール

受講者 13人

イ 赤十字奉仕団委員長会議への参加

期 日 4月13日

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 委員長 三森 幹男

ウ 総会の実施（文書審議）

期 日 4月14日

エ 役員会の実施

期 日 3月3日

会 場 日赤秋田県支部 研修室

参加者 8人

オ その他

小学生に対する着衣泳指導によるボランティア活動

5) 救急法奉仕団

ア 奉仕団主催講習会の実施

支部と連携し、各種講習会に指導員を派遣するほか、奉仕団で主催し講習会を企画した。

○県北地区

期 日 10月7日
会 場 北秋田市民ふれあいプラザ コムコム
内 容 基礎講習
受講者 10人

期 日 11月4日
会 場 能代ふれあいプラザ・サンピノ
内 容 基礎講習
受講者 16人

期 日 11月5日・11日
会 場 能代ふれあいプラザ・サンピノ
内 容 救急員養成講習
受講者 3人

○中央地区

期 日 12月2日
会 場 秋田県社会福祉会館
内 容 基礎講習
受講者 29人

期 日 12月9日・10日
会 場 秋田県社会福祉会館
内 容 救急員養成講習
受講者 15人

○県南地区

期 日 8月6日
会 場 増田地区多目的研修センター
内 容 基礎講習
受講者 7人

期 日 11月3日
会 場 増田地区多目的研修センター
内 容 基礎講習
受講者 5人

期 日 11月4日・5日
会 場 増田地区多目的研修センター
内 容 救急員養成講習
受講者 5人

イ 赤十字奉仕団委員長会議への参加

期 日 4月13日
会 場 秋田県社会福祉会館
参加者 委員長 田口 昇

ウ 総会の実施

期 日 4月22日
会 場 秋田県社会福祉会館
参加者 25人

エ 地区研修会

○県北地区

期 日 11月11日
会 場 能代ふれあいプラザ・サンピノ
内 容 ・救急法救急員養成講習の実技確認
・県北奉仕団主催講習についての協議
出席者 7人

○中央地区

期 日 12月2日
会 場 秋田県社会福祉会館
内 容 防災セミナー ひなんじょたいけん
出席者 5人

○県南地区

期 日 8 月 6 日
会 場 増田地区多目的研修センター
内 容 救急法基礎講習の確認、振り返り
出席者 6 人

オ 赤十字キッズタウン 2023 への参加

赤十字運動月間イベントとして開催された支部のイベントに、運営スタッフとして団員が参加した。

期 日 5 月 28 日
会 場 日本赤十字秋田看護大学・日本赤十字秋田短期大学
内 容 支部仕事体験コーナー
参加者 4 人

カ 赤十字奉仕団リーダーシップ研修会への参加

日赤支部事業の赤十字奉仕団リーダーシップ研修会に団員を派遣し、奉仕団員としての知識と技術を学び各奉仕団との連携を確認した。

期 日 10 月 26 日～27 日
会 場 秋田温泉さとみ
参加者 1 人

キ 役員会の実施

期 日 3 月 3 日
会 場 日赤秋田県支部 研修室
参加者 11 人

6) 災害救護奉仕団

防災ボランティアによって組織している災害救護奉仕団の活動内容は、次のとおりである。

ア 赤十字奉仕団委員長会議への参加

期 日 4 月 13 日
会 場 秋田県社会福祉会館
参 加 者 委員長 八代 千春

イ 令和 5 年 7 月 14 日からの大雨災害救護活動の実施

・情報収集・災害記録収集・巡回活動

- ・支部健康生活支援チームへの同行
- ・義援金街頭募金
- ・非常炊き出し（五城目町）

ウ 赤十字奉仕団リーダーシップ研修会への参加

日赤支部事業の赤十字奉仕団リーダーシップ研修会に団員を派遣し、奉仕団員としての知識と技術を学び各奉仕団との連携を確認した。

期 日 10月26日～27日

会 場 秋田温泉さとみ

参加者 1人

エ その他

- ・年間を通じ、災害の発生が懸念される状況において情報収集を実施した。
- ・年間を通じ、市内巡回パトロール活動を実施した。

7) 青少年赤十字賛助奉仕団

元青少年赤十字の指導者によって組織している青少年赤十字賛助奉仕団の活動内容は、次のとおりである。

ア 赤十字奉仕団委員長会議への参加

期 日 4月13日（木）

会 場 秋田社会福祉会館

参加者 委員長 眞井田 恭雄

イ その他

- ・年間を通じ、青少年赤十字未加盟校に対する加盟促進・啓発活動を実施した。
- ・青少年赤十字指導者協議会との連携を強化した。

(4) 秋田県赤十字有功会

1) 設立年月日等

設立年月日	会 長	副 会 長	
昭和58年1月21日	三戸 俊彦	佐藤 安隆	烏 トキエ

2) 会員数

個 人	法 人	計
137人	66社	203人・社

入会会員 10 人 退会会員 16 人

3) 主な活動

ア 役員会

日 時 4 月 20 日

場 所 秋田県社会福祉会館 9 階第 3 会議室

出席者 9 人

イ 総会

日 時 6 月 21 日

場 所 ホテルメトロポリタン秋田

出席者 32 人

ウ 公開講演会

日 時 6 月 21 日

場 所 ホテルメトロポリタン秋田

内 容 演題 「ウイルスと共存するための 3 つの方法

～WHO のフィールドワークでの経験を通して～」

講師 秋田赤十字病院 予防接種センター長 遠田 耕平

参加者 33 人

エ 全国赤十字大会参会

日 時 5 月 18 日

場 所 明治神宮会館（東京都）

出席者 1 人

オ 秋田県支部事業への助成

・25 万円を活動資金として寄付

カ 青少年赤十字活動の推進

青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター参加者へ
記念品（赤十字マーク入りボールペン）を贈呈

期 日 9 月 18 日

場 所 大仙市立太田北小学校

参加者 13 人

キ 日赤紺綬・有功会会長協議会総会への参加

期 日 10 月 12 日

場 所 ANA クラウンプラザホテル広島

出席者 3 人

ク 会報「有功秋田」の発行

第 72 号 令和 5 年 9 月発行

ケ 新規会員勧誘

新たに有功章を受章された個人・法人へ入会案内

令和 5 年度 入会会員 10 名（個人 9 名 法人 1 社）

コ 会員の慶弔

0 件

サ 記念事業等資金積立

50 万円を積み立て

9 青少年赤十字（J R C）

1 組織

秋田県青少年赤十字指導者協議会

（加盟校で構成）

秋田県青少年赤十字賛助奉仕団

（元青少年赤十字の指導者等で構成）

職 名	氏 名	勤務校名	電話番号
会 長	佐 藤 進	秋田南高等学校	018-833-7431
副会長	駒 木 聖 子	大館市立東中学校	0186-42-2835
同	伊 藤 さつき	川 尻 小 学 校	018-824-2374
同	鈴 木 和 彦	太田北小学校	0187-88-2112

秋田県青少年赤十字指導者協議会理事会

（地区会長等で構成）

秋田県青少年赤十字地区指導者協議会

（地区加盟校で構成）

地 区 名	会長名	勤務校名	電話番号
鹿角・大館・北秋	駒 木 聖 子	大館市立東中学校	0186 - 42 - 2835
能 代 ・ 山 本	近 藤 克 彦	湊城西小学校	0185 - 52 - 2237
男鹿・潟上・南秋	小 玉 和 彦	弘 戸 小 学 校	0185 - 46 - 2510
秋 田 市	伊 藤 さつき	川 尻 小 学 校	018 - 824 - 2374
由利本荘・にかほ	戸賀瀬 百合賀	西 目 小 学 校	0184 - 33 - 2305
大 仙 ・ 仙 北	鈴 木 和 彦	太田北小学校	0187 - 88 - 2112
横 手 市	西 村 直 崇	醍 醐 小 学 校	0182 - 25 - 4204
湯 沢 ・ 雄 勝	寺 田 玲 子	湯沢東小学校	0183 - 72 - 5125

秋田県青少年赤十字指導者協議会幹事会

（指導者協議会の幹事で構成）

2 登録状況

（令和6年3月31日現在）

区 分	学 校 数	メンバー数(人)
幼稚園・子ども園・保育園	45 園	3,447
小 学 校	98 校	17,817
中 学 校	48 校	8,739
高校・支援・各種	31 校	2,838
計	222 校(園)	32,841

令和5年度 秋田県青少年赤十字加盟 園・校

(令和6年3月31日現在)

		園・校種										
		幼稚園	保育園（所）	認定こども園	小学校			中学校・義務教育	高校・専修	特別支援	合計	
地	鹿角大館北秋田				小坂	南	米内沢	小坂		十和田	比内支援	18園・校
					十和田	清鷹	釈迦内	東		大館桂桜		
					城南	有浦	花岡			秋田北鷹		
					川口	早口	鷹巣東					
	小計	0園 0人	0園 0人	0園 0人	12校	1,992人		2校 453人	3校 18人	1校121人	2,584人	
	能代山			愛慈幼	湊城西	二ツ井	浜口	能代第一	能代	能代支援	30園・校	
					湊城南	琴丘	湖北	能代第二	能代松陽			
					第四	森岳	八森	八峰 藤里	能代科学技術			
					第五	金岡	峰浜	能代東 琴丘				
					向能代			能代南 山本				
					浅内			東雲 八竜				
	小計	0園 0人	0園 0人	1園 63人	14校	2,120人		11校1,625人	3校 40人	1校 96人	3,944人	
男鹿潟上南秋田			(認) 追分幼	脇本第一	飯田川		男鹿南	八郎潟	秋田西	15園・校		
				八郎潟	船越	天王	男鹿東	大潟				
				大潟	弘戸	追分						
				美里								
小計	0園 0人	0園 0人	1園 109人	9校	1,788人		4校 568人	1校 34人	0校 0人	2,499人		
秋田	飯島幼	勝平保	(認) こまどり幼	川尻	戸島		秋田南		金足農業	視覚支援	28園・校	
		第一ルンビニ園	あきた中央こども園	高清水			秋南高 中等部	秋田北 秋田	秋田きり支援			
		第二ルンビニ園	サン・パティオこども園	日新				秋田工業				
		牛島ルンビニ園		下新城				秋田令和				
		こひつじ保		東				聖霊女短大付				
		ナーサリー小島の木		桜				秋田クラーク				
小計	1園 70人	6園 606人	3園 174人	7校	2,990人		2校 564人	7校790人	2校115人	5,309人		
由利本荘		本荘保		小友	由利	西目	東由利			ゆり支援	6園・校	
小計	0園 0人	1園 115人	0園 0人	3校	516人		1校 205人	0校 0人	1校125人	961人		
域	大仙北		はなだて保	(認) なかせん ワイワイランド	大曲	西仙北	角館	大曲	角館	大曲農業	大曲支援	74園・校
			大曲東保	(認) せんぼく ちびっこランド	東大曲	清水	白岩	大曲西	生保内	大曲農業 太田分校		
			大曲南保	(認) おおた わんぱくランド	花館	豊成	生保内	大曲南	神代	大曲工業		
			大曲北保	(認) すくすくだけっこ園	内小友	中仙	神代	平和	西明寺	角館		
			大曲乳児保	(認) 西仙 あおぞらこども園	大川西根	協和	西明寺	西仙北	桧木内	秋田修英		
			大川西根保	大曲駅前こども園	藤木	太田東	桧木内	中仙	美郷			
			角間川保	仙南すこやか園	四ツ屋	太田南	六郷	協和				
			藤木保	六郷わくわく園	角間川	太田北	千畑	南外				
			内小友保	千畑なかよし園	神岡	南外	仙南	仙北				
			中仙東保	四ツ屋こども園	高梨			太田				
			みつば保	大曲中央こども園	横堀							
			角館西保									
	小計	0園 0人	12園 783人	11園 963人	29校	4,485人		16校2,579人	5校156人	1校 85人	9,051人	
横手		醍醐保	(認) こひつじ	横手南	増田	大森	横手北	増田	横手	横手支援	32園・校	
		むつみ乳児保	むつみ幼保連携型 認定こども園	朝倉	浅舞	十文字	横手南	平鹿	横手城南			
			(認) 土屋幼	旭	吉田	山内	横手清陵学院		雄物川			
			(認) 上宮第一幼	栄	醍醐		横手明峰	十文字				
			(認) 上宮第二幼	横手北	雄物川							
				大雄								
小計	0園 0人	2園 95人	5園 295人	14校	2,248人		7校1,899人	3校1,130人	1校 43人	5,710人		
湯沢雄勝	双葉幼		湯沢よつばこども園	湯沢東	三輪	西馬音内	湯沢北	雄勝	湯沢	稲川支援	19園・校	
				湯沢西	雄勝	羽後明成	山田	羽後				
				山田	皆瀬	高瀬	稲川					
				稲川								
小計	1園 89人	0園 0人	1園 85人	10校	1,678人		5校 846人	1校 5人	1校 80人	2,783人		
合計	2園 159人	21園 1,599人	22園 1,689人	98校 17,817人			48校 8,739人	23校 2,173人	8校 665人	222園・校 32,841人		

4 会議・研修会等

(1) 指導者協議会理事会（第1回）

期 日 5月24日(水)

会 場 秋田県社会福祉会館 9階第3会議室

出席者 11人（会長・理事、支部職員）

(2) 指導者協議会理事会（第2回）

期 日 11月28日

会 場 秋田県社会福祉会館 9階第3会議室

出席者 11人（会長・理事、支部職員）

(3) 指導者研修会

期 日 5月30日

会 場 秋田県社会福祉会館 9階第3会議室

出席者 27人（教職員・支部職員）

(4) 全国指導者協議会総会・研修会

期 日 6月30日

会 場 本社

参加者 1人（指導者協議会会長）

(5) 青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター（小学生対象）

期 日 9月18日

会 場 大仙市立太田北小学校

参加者 小学生13人、指導者13人

(6) 第1ブロック青少年赤十字指導者研究会

期 日 10月3日～4日

会 場 ホテルメトロポリタン秋田

対 象 教諭・支部職員等 1日目29人、2日目17人

(7) 青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター指導者養成講習会

期 日 5月26日～28日

会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター

出席者 教諭1人

(8) 青少年赤十字研究会(指導主事対象)

期 日 令和6年1月12日

会 場 本社

出席者 県教育委員会指導主事1人

5 青少年赤十字研究推進校

・青少年赤十字研究推進校の委嘱

学 校 名	大館市立東中学校	横手市立増田小学校
委嘱年度	令和4～5年度	令和5～6年度
研 究 テ ー マ	自分の未来とふるさとの未来 を切り拓く生徒の育成 ～ふるさと大館とあなたの未来へ 笑顔と優しさを届けよう～	自分、仲間、横手が“だいす き!” 未来に向けて挑戦する子どもの 育成

6 高校青少年赤十字協議会

(1) 高校協議会総会

期 日 7月2日

会 場 秋田県社会福祉会館 9階第3会議室

参加者 18人(高校生・指導者・支部職員)

(2) 第1ブロック高等学校青少年赤十字交流会

期 日 9月30日・10月1日

会 場 ウェディングエルティ(福島市)

参加者 高校生2人、支部職員1人

(3) 青少年赤十字国際交流集会

日 時 11月23日～26日

会 場 本社・国立オリンピック記念青少年総合センター

参加者 高校生1人

(4) 海外たすけあい全県一斉街頭募金

期 日 12月9日

会 場 秋田駅東西連絡自由通路ぼぼろ一ど

参加者 高校生26人、秋田市赤十字奉仕団ほか

(5) 青少年赤十字スタディー・センター

日 時 令和 6 年 3 月 22 日～26 日

会 場 山中湖村東照館

参 加 者 高校生 1 人

(6) 青少年赤十字幼児安全法講習会

日 時 10 月 7 日

会 場 秋田県社会福祉会館 9 階第 3 会議室

参 加 者 高校生 4 人、指導者等 3 人

(7) 秋田赤十字乳児院施設訪問研修

日 時 令和 6 年 3 月 22 日

会 場 秋田赤十字乳児院

参 加 者 高校生 12 人

7 機関誌の発行

「青少年赤十字秋田第 42 号」令和 6 年 3 月 31 日発行

10 広報・普及活動

1 印刷物の配布状況

社旨普及のため配布した印刷物は次のとおり

名 称	配布数(部)	配 布 先
赤十字NEWS	29,600	各地区・分区、有功章会員、法人会員 奉仕団員、青少年赤十字加盟校 他
毎戸チラシ	360,000	全世帯
会員募集の手引	15,400	各地区・分区の奉仕者
パンフレット(要覧)	32,000	各地区・分区の奉仕者
支部機関紙 「赤十字秋田」	42,000	各地区・分区、有功章会員、法人会員 奉仕団員青少年赤十字加盟校、献血者 他

2 報道機関等を通じての広報

5月の赤十字運動月間を中心に、報道機関を通じて次の広報活動を行った。

- ・広告の掲載 8社の協力を得て「秋田魁新報」へ広告を掲載〔5/1朝刊〕
- ・テレビスポットの放映

局 名	広 報 内 容
秋田テレビ(株)	5月に本社作成の運動月間用スポットを使用。 2～3月に(株)秋田放送にて支部で作成した広報用 スポットを使用。
(株)秋田放送	
秋田朝日放送(株)	

3 イベントの実施

赤十字運動月間を中心に支部と施設等がタイアップし次のイベントを実施した。

レッドライトアッププロジェクト2023

場 所 ポートタワーセリオン

期 日 5月1日～5月31日

内 容 県民の皆さまに赤十字を知っていただくとともに「人道」への理解を
深めていただくことを目的に、ランドマークとなる施設等に参加
いただき、赤くライトアップした。

4 インターネットの活用

インターネットを活用し、ホームページ上で赤十字活動の周知に努めた。
ホームページアドレス等については次のとおり

【ホームページアドレス等】

ホームページアドレス	https://www.jrc.or.jp/chapter/akita/
代表メールアドレス	info@akita.jrc.or.jp
ホームページの内容	・ 行事紹介 ・ 事業紹介 ・ 赤十字講習の受付 ・ 赤十字の歴史 ・ 赤十字マークについて ・ 義援金（受付状況）等

【YouTube】

U R L	https://www.youtube.com/channel/UCko3xsoA52A4Sm086QNf5Mg
動 画 の 内 容	・ 赤十字幼児安全法の紹介 ・ 赤十字活動川柳優秀作品のご紹介 ・ 「教えて！病気や健康のこと！」 等

【X】（旧 Twitter）

U R L	https://twitter.com/akita_redcross
投 稿 内 容	日々の業務内容

【Instagram】

U R L	https://www.instagram.com/nisseki_akita/
投 稿 内 容	日々の業務内容

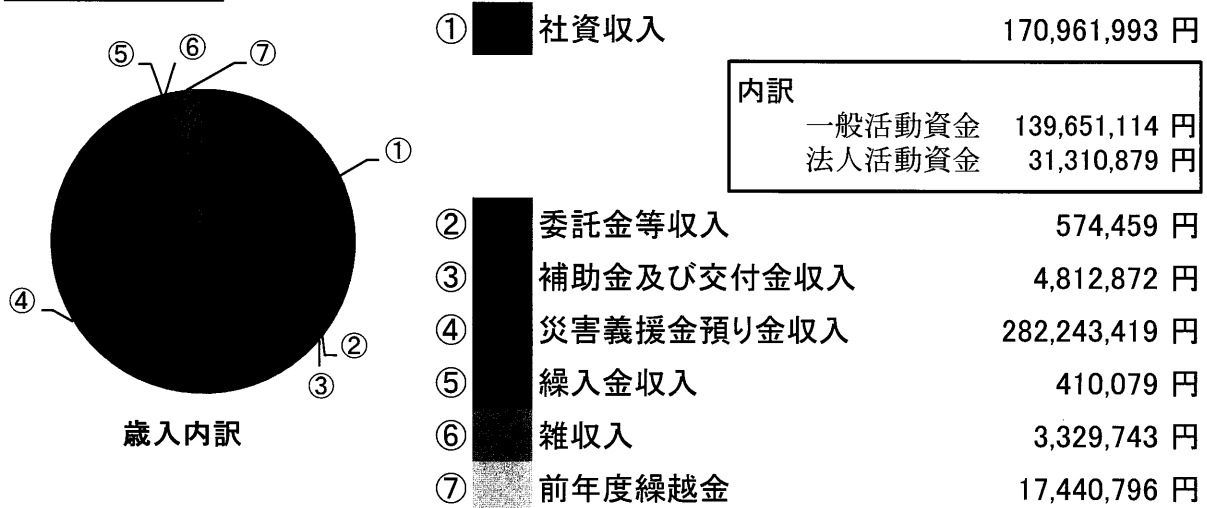
5 動画の制作（YouTube に掲載）

- （１）110 名の子どもたちが赤十字のお仕事を体験！
～「赤十字キッズタウン 2023」を開催しました！～
- （２）服を着たまま、水に落ちたらどうする？
～赤十字水上安全法から、命を守る方法をご紹介します！～
- （３）災害発生時に迅速に救護活動ができるよう、平時から備えています！
（令和 5 年度 日赤秋田県支部救護員研修会）

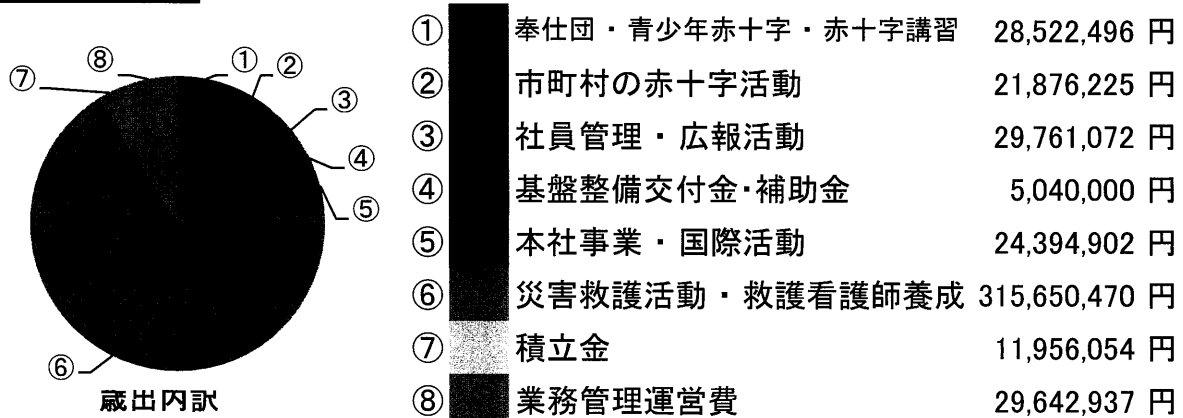
令和5年度秋田県支部 歳入歳出決算概要

歳入額	479,773,361 円
歳出額	466,844,156 円
収支残	12,929,205 円

歳 入 479, 773, 361円



歳 出 466, 844, 156円



※令和5年度決算につきましては、令和5年8月の大雨災害による義援金として歳入「④災害義援金預り金収入」及び歳出「⑥災害救護活動・救護看護師養成」にそれぞれ282,243,419円が計上されております。

皆様の温かいご支援ご協力に感謝申し上げます。

上記義援金は全額、秋田県義援金配分委員会を通して被災された方々にお届けしております。

歳入－歳出＝12,929,205円は翌年度(令和6年度)当初の活動運営資金になります。

1 1 医 療 事 業

(秋田赤十字病院)

1 概 要

令和 5 年度は、「秋田県の中核病院として、高度で安全な医療の提供に努めるとともに、赤十字の使命である災害医療救護にも積極的に取り組み、地域との厚い信頼を築く」を指針とした。具体的施策には、1) 質の高い医療の提供、2) 災害医療救護体制の充実、3) 病院経営の健全化、4) 地域医療への貢献、を掲げた。しかし、新型コロナウイルス感染症については、令和 5 年 5 月に感染症法上 2 類から 5 類に区分が移行したものの、感染患者がいなくなったわけではなく、そのことによる病床ひっ迫もあり、令和 5 年度もその影響を受けた 1 年であった。

上記施策の評価は、

1) 安心で安全な、質の高い医療が提供されたと考えられる。ドクターヘリ事業は、要請件数 506 件、出動件数 295 件と、前年度より出動件数は減少したものの、要請件数は増加した。要請件数の増加に反し出動件数が減少したのは、天候不良による未出動が多かったためである。

2) 災害医療救護は、秋田県・支部の要請を受け、令和 5 年 7 月の秋田県大雨災害に対し D M A T (災害派遣医療チーム) 2 チーム、災害医療コーディネートチーム、救護班、こころのケア班の延べ 44 名を派遣した。また、令和 6 年 1 月の能登半島地震に対し、支部の要請を受け、救護班 5 班、災害医療コーディネートチームで延べ 40 名を派遣したほか、医療機関支援に看護師 1 名を派遣した。それぞれが被災者に寄り添った十分な活動を行った。

3) 外来患者数は前年度より減少したものの、入院患者数は増加した。病院経営では、医業収支が令和 4 年度同様大きな赤字だった。経常収支、病院収支も新型コロナウイルスが感染症法上 2 類から 5 類に移行されたことに伴うコロナ関係補助金等の縮小により赤字となった。

4) 病院機能としては、高度急性期・急性期の医療を実践している。また、地域医療支援病院として、地域の医療機関から前年比 93 人増の 6,054 人の紹介を受け(紹介率 67.3%)、その後に逆紹介した(逆紹介率 111.8%)。

2 医療活動

医師数は 120 名を超えるが診療科による偏在があり、県内外から応援を得て医療活動がなされた。一方、医師が充足している診療科では、県内医療機関から要請があれば応じるようにしており、令和 5 年度は 26 箇所の医療機関へ医師を派遣した。

許可病床数は 480 床で、一般医療が 344 床、県の委託を受けて運営する政策医療が 136 床（救命救急 50 床、周産期 56 床、神経病 30 床）である。標榜科は 31 科。病院附属の健診施設として秋田市中通地区にあきた健康管理センターがある。

令和 5 年度の入院患者数は延べ 136, 121 人と前年度に比べて 8, 641 人増加した。一日平均入院患者数は前年度の 349.3 人から 371.9 人になった。病床利用率は、84.7%（前年度比 5.1pt 増）だった。平均在院日数は 13.3 日と 0.4 日延長した。外来患者数は延べ 180, 222 人で前年度より 7, 537 人減少した。患者の地域別割合では、秋田市が外来、入院とも約 4 分の 3 であり、その他の地域は前年度と変わらなかった。

救急患者数は 16, 962 人で前年度より 1, 225 人増加した。救急からの入院は前年度より 427 人増加した。救急車による搬送数は前年度の 2, 679 件から 3, 423 件と大幅に増加した。

分娩数は 551 件で前年度より 64 件減少した。手術室で行われた手術件数は 3, 268 件で前年度より 99 件減少し、全身麻酔手術数は 2, 099 件で 49 件減少した。

人間ドックなどの健診事業について、本院では 9, 028 人、あきた健康管理センターでは 10, 203 人、併せて 19, 231 人（前年度比 367 人増）の健診を行った。

診療収益は、入院が 98 億 4 千万円（前年度比 5 億 9 千万円の増）、外来が 39 億 9 千万円（前年度比 1 億 2 千万円の増）だった。診療単価は、入院 72, 318 円、外来 22, 171 円だった。病院収支としては、収入が 158 億 3 千万円（前年度比 5 億 4 千万円の減）、支出が 163 億 2 千万円（前年度比 7 億 7 千万円の増）であり、4 億 9 千万円の赤字となった。令和 6 年度は 6 月に診療報酬改定もあり、病院を取り巻く環境は厳しさを増すが、医療の安定的な提供を行うため、病院経営の健全化に取り組んでまいりたい。

3 令和5年度実績

(1) 科別患者延数

(単位：人)

	総合診療	腎臓内科	代謝内科	血液内科	神経内科	呼吸器内科
入 院	1,060	3,017	2,860	8,346	11,334	10,631
外 来	5,341	14,190	11,040	5,173	8,214	10,639

	肝胆膵	消化管	循環器内科	腫瘍内科	精神科	小児科
入 院	7,308	4,725	8,163	1,851	0	2,392
外 来	6,777	8,992	7,015	1,424	8,164	6,018

	新生児科	消化器外科	乳腺外科	呼吸器外科	心臓血管外科	小児外科
入 院	4,853	15,558	2,611	1,970	0	32
外 来	329	10,319	8,056	1,850	447	296

	整形外科	形成外科	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科	産 科
入 院	21,898	1,836	5,138	658	5,923	7,835
外 来	16,029	4,918	2,417	7,438	11,481	5,545

	婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	救急科	全科合計
入 院	2,580	0	484	0	3,058	136,121
外 来	6,567	2,696	7,620	893	334	180,222

(2) 救命救急センター患者取扱状況

(単位：人)

	救急患者	来 院 方 法			来 院 時 間		
		救 急 車	へり	そ の 他	時 間 内	時 間 外	深夜(再掲)
交通事故	269	178	7	84	92	177	23
急 病	13,852	2,629	40	11,183	3,828	10,024	1,803
そ の 他	2,841	616	23	2,202	854	1,987	256
計	16,962	3,423	70	13,469	4,774	12,188	2,082

	患 者 の 状 況				
	帰 宅	一般外来	入 院	転 送	死 亡
交通事故	230	0	38	0	1
急 病	10,673	11	3,071	31	66
そ の 他	2,313	1	513	4	10
計	13,216	12	3,622	35	77

(3) 分娩、手術関係

	件 数	備 考
分 娩	551	
出 生	565	
手 術	3,268	手術室におけるもの
死 亡	484	外来死亡77件含む
剖 検	3	剖検率 0.7%

(4) 健診部の活動、その他

	外来ドック	入院ドック	健康診断	生活習慣病	特定健診	婦人科検診	その他健診等
件 数	5,248	1,386	195	1,839	8	224	128

	特定保健指導	ストレス・タック	フォローアップ 健診	各種教室等	その他
件 数	266	25	0	0	5

	乳児健診	予防接種	母親学級	栄養相談	救 護
件 数	635	546	234	1,790	3

(5) 地域別実患者数

全患者内訳

地 域 別	外 来		入 院		合 計
	実患者数	比率	実患者数	比率	
秋 田 市	25,764	75.10%	5,280	74.43%	31,044
鹿 角 市・郡	45	0.13%	9	0.13%	54
大 館・北 秋	499	1.45%	95	1.34%	594
能 代・山 本	561	1.64%	115	1.62%	676
男 鹿・南 秋	1,913	5.58%	406	5.72%	2,319
由利本荘・にかほ	1,073	3.13%	229	3.23%	1,302
大 曲・仙 北	3,283	9.57%	655	9.23%	3,938
横 手・平 鹿	364	1.06%	77	1.09%	441
湯 沢・雄 勝	222	0.65%	42	0.59%	264
県 外	580	1.69%	186	2.62%	766
総 合 計	34,304	100.00%	7,094	100.00%	41,398

秋田市内内訳

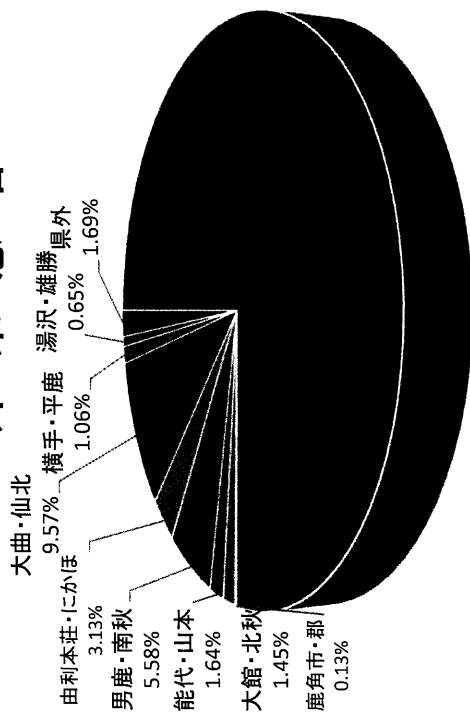
地 域 別	外 来		入 院		合 計
	実患者数	比率	実患者数	比率	
中 央 地 区	3,506	13.61%	703	13.31%	4,209
東 部 地 区	6,320	24.53%	1,272	24.09%	7,592
西 部 地 区	2,192	8.51%	485	9.19%	2,677
南 部 地 区	8,768	34.03%	1,694	32.08%	10,462
北 部 地 区	1,971	7.65%	408	7.73%	2,379
河 辺・雄 和	3,007	11.67%	718	13.60%	3,725
秋 田 市 合 計	25,764	100.00%	5,280	100.00%	31,044

(6) 附属あきた健康管理センターの活動

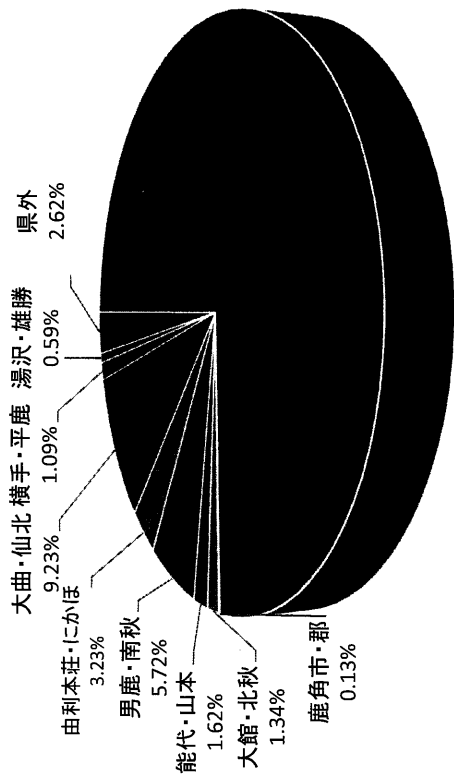
	外来ドック	健康診断	生活習慣病	特定健診	婦人科検診	その他健診
件 数	2,731	1,388	5,640	323	121	0

全患者内訳

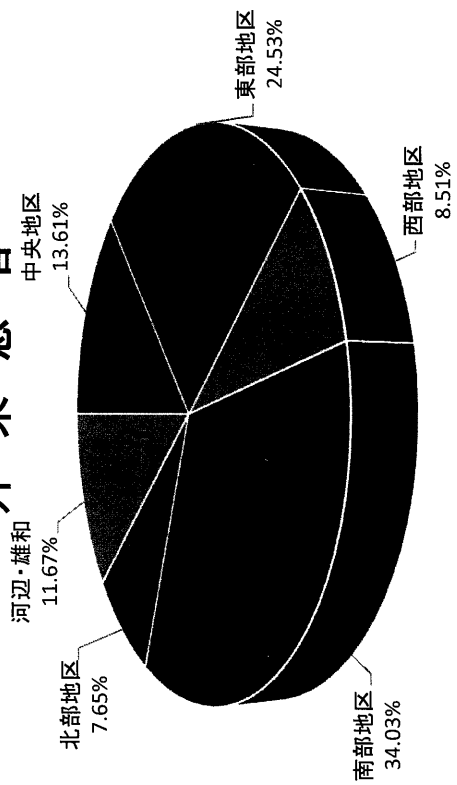
外来患者



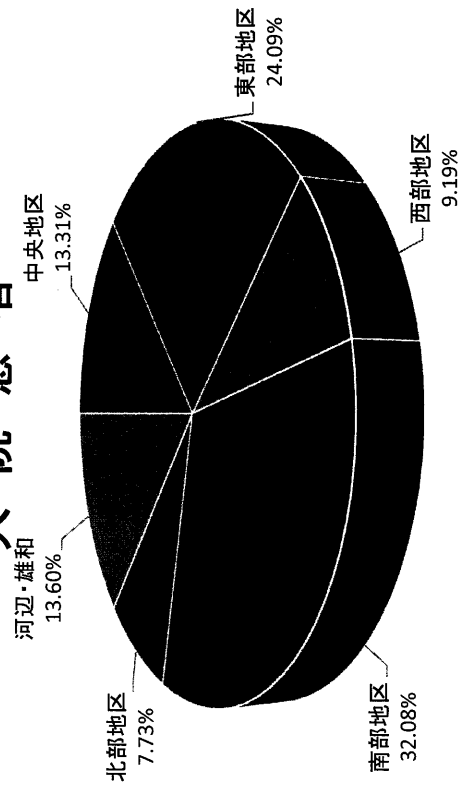
入院患者



外来患者



入院患者



12 血液事業

(秋田県赤十字血液センター)

1 概要

秋田市を中心とする大雨災害が7月に発生し、献血実施予定会場が中止となった。また、8月は連日猛暑の影響から体調を考慮し献血を控える方々が多く、献血者確保対策が求められた。

このような中でも医療機関に対して血液製剤を安定的に供給するため、医療需要に基づく必要血液量を過不足なく確保することが大切であることから、400mL 献血、成分献血を中心として計画的かつ効率的な確保に向けた事業の推進に努めた。

(1) 献血推進と実績について

- ア 令和5年度の献血実績は、200mL 献血 622 人、400mL 献血 23,870 人、成分献血 12,648 人、合計 37,140 人となり、事業計画を 1,245 人（計画比 103.5%）上回った。
- イ 秋田市、大仙市、横手市の各保健所管内において大雨災害の影響により献血実施できない会場が発生したが、各保健所並びに市町村と協議し代替え日程を実施した。
県民や各献血協力団体等の献血協力はもとより、県、保健所及び市町村の協力により概ね順調に献血血液の確保ができた。
- ウ 令和5年度の日本赤十字社における献血予約は70%を目標とし予約の推進に取り組んできたものの、当血液センターは69.6%にとどまった。
また、令和4年9月28日より、献血カードのアプリが導入された。献血カード情報をスマートフォンなどに連携させ、献血予約や問診回答が事前に行えるなどのメリットがある。より多くの献血者へ利用していただくため前年度に引き続き、学校や事業所へのチラシ配布、ポスター提示などを積極的に行った。

(2) 輸血用血液製剤の供給について

- ア 県内医療機関への血液製剤の供給は、赤血球製剤 50,786 単位、血漿製剤 13,401 単位、血小板製剤 66,245 単位、合計 130,432 単位となり前年度より 13,583 単位減少した。血小板製剤の減少が著しかった。
大館鹿角地域の医療機関には、広域事業運営体制により青森県赤十字血液センター弘前出張所から血液製剤を供給しており、内訳としては赤血球製剤 3,811 単位、血漿製剤 312 単位、血小板製剤 4,890 単位、合計 9,013 単位となる。
- イ 令和5年度における2つの重点項目のうち、医療機関からの輸血用血液製剤 Web 受注率については4月から全国目標である80%を超え令和5年度の3月は97%となり目標を大きく上回った。
- ウ もう1つの重点項目である定時配送率については、医療機関に協力を依頼した結果、ほとんどの月で目標の80%を超えた。
しかし、至急の発注が多かったなどで2つの月で80%に満たなかったが、冬期間が比較的良好であったため、年度累計で81.3%と目標の80%を上回った。
- エ 医療機関向けの会議として10月に輸血管理実務担当者会議を開催した。数年ぶりに現地参集で行い、25施設から参加があった。

2 令和5年度実績

(1) 令和5年度 献血方法別目標及び実績

(単位：人)

区 分	目 標	実 績	過 不 足	達 成 率
200mL献血	683	622	△ 61	91.1%
400mL献血	23,169	23,870	701	103.0%
成分献血	12,043	12,648	605	105.0%
合 計	35,895	37,140	1,245	103.5%
献血量 (L)	15,966.6	17,336.2	1,369.6	108.6%

(2) 令和5年度 献血方法別実績前年度比較

(単位：人)

区 分	令和5年度実績	令和4年度実績	増 減	前年度比
200mL献血	622	745	△ 123	83.5%
400mL献血	23,870	24,091	△ 221	99.1%
成分献血	12,648	13,565	△ 917	93.2%
合 計	37,140	38,401	△ 1,261	96.7%
献血量 (L)	17,336.2	17,572.9	△236.7	98.7%

(3) 月別・性別献血状況、献血できなかった人数の内訳

(単位：人)

区分	月												合計	比率
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
申込者数	総数	3,373	3,453	3,382	3,136	3,114	3,321	3,431	3,416	3,621	3,606	3,390	40,523	100.0%
	男	2,294	2,446	2,378	2,113	2,197	2,297	2,354	2,405	2,447	2,566	2,429	28,258	69.7%
	女	1,079	1,007	1,004	1,023	917	1,024	1,077	1,011	1,174	1,040	961	12,265	30.3%
献血者数	総数	3,050	3,131	3,078	2,826	2,865	2,984	3,140	3,186	3,326	3,387	3,143	37,140	91.7%
	男	2,182	2,328	2,260	2,010	2,109	2,185	2,245	2,309	2,323	2,486	2,323	26,982	66.6%
	女	868	803	818	816	756	799	895	877	1,003	901	820	10,158	25.1%
献血できなかった人数	総数	323	322	304	310	249	337	291	230	295	219	247	3,383	8.3%
	男	112	118	118	103	88	112	109	96	124	80	106	1,276	3.1%
	女	211	204	186	207	161	225	182	134	171	139	141	2,107	5.2%
内訳	総数	148	164	146	148	124	174	125	106	138	95	115	1,601	47.3%
	血色素不足	32	41	39	29	29	32	26	25	30	16	30	364	10.7%
	その他	116	123	107	119	95	142	99	81	108	79	85	1,237	36.6%
	総数	175	158	158	162	125	163	166	124	157	124	132	1,782	52.7%
	男	80	77	79	74	59	80	83	71	94	64	76	912	27.0%
	女	95	81	79	88	66	83	83	53	63	60	56	870	25.7%

(注) 申込者数は献血者数・献血できなかった人数の合計である。
 献血者数は献血者数・献血できなかった人数の割合は、申込者総数に対する比率である。また、男女の割合は、申込者総数に対する比率である。
 内訳の割合は献血できなかった人数の総数に対する比率である。

(4) 保健所別献血者状況

(単位:人)

項目 保健所	合 計				全 血 献 血						成 分 献 血				献 血 量 (L)		
	目標数	申込者数	献血者数	目 標 達成率	目標数	申込者数	献 血 者 数			目 標 達成率	目標数	申込者数	献血者数	目 標 達成率	目標数	献血量	目 標 達成率
							200mL 献 血	400mL 献 血	計								
大 館 保 健 所	2,483	2,915	2,658	107.0%	2,483	2,915	67	2,591	2,658	107.0%					979.0	1,049.8	107.2%
北 秋 田 保 健 所	771	848	781	101.3%	771	848	29	752	781	101.3%					304.0	306.6	100.9%
能 代 保 健 所	1,584	1,715	1,549	97.8%	1,584	1,715	29	1,520	1,549	97.8%					624.6	613.8	98.3%
秋田中央保健所	1,071	1,146	1,067	99.6%	1,071	1,146	10	1,057	1,067	99.6%					422.2	424.8	100.6%
由利本荘保健所	1,884	2,191	1,998	106.1%	1,884	2,191	44	1,954	1,998	106.1%					742.8	790.4	106.4%
大 仙 保 健 所	2,525	2,880	2,660	105.3%	2,525	2,880	19	2,641	2,660	105.3%					995.6	1,060.2	106.5%
横 手 保 健 所	2,098	2,460	2,235	106.5%	2,098	2,460	30	2,205	2,235	106.5%					827.2	888.0	107.4%
湯 沢 保 健 所	1,414	1,553	1,425	100.8%	1,414	1,553	65	1,360	1,425	100.8%					557.4	557.0	99.9%
秋田市保健所※	22,065	24,815	22,767	103.2%	22,065	24,815	329	9,790	10,119	101.0%	12,043	13,903	12,648	105.0%	10,513.8	11,645.6	110.8%
合 計	35,895	40,523	37,140	103.5%	35,895	40,523	622	23,870	24,492	102.7%	12,043	13,903	12,648	105.0%	15,966.6	17,336.2	108.6%

※秋田市保健所には、固定施設の献血パーク るろびアトロン献血ルームを含む。

(5) 年齢別・性別献血状況

(単位:人)

	献血者数					男 性					女 性				
	200mL 献 血	400mL 献 血	成 分 献 血	計	比率	200mL 献 血	400mL 献 血	成 分 献 血	計	比率	200mL 献 血	400mL 献 血	成 分 献 血	計	比率
16～19歳	467	729	82	1,278	3.4%	79	475	50	604	2.2%	388	254	32	674	6.6%
20～29歳	127	3,610	1,079	4,816	13.0%	11	2,480	730	3,221	11.9%	116	1,130	349	1,595	15.7%
30～39歳	10	3,881	1,787	5,678	15.3%	0	2,836	1,289	4,125	15.3%	10	1,045	498	1,553	15.3%
40～49歳	7	5,973	3,242	9,222	24.8%	0	4,281	2,496	6,777	25.1%	7	1,692	746	2,445	24.1%
50～59歳	7	6,505	4,184	10,696	28.8%	0	4,775	3,238	8,013	29.7%	7	1,730	946	2,683	26.4%
60～69歳	4	3,172	2,274	5,450	14.7%	0	2,377	1,865	4,242	15.8%	4	795	409	1,208	11.9%
計	622	23,870	12,648	37,140	100.0%	90	17,224	9,668	26,982	100.0%	532	6,646	2,980	10,158	100.0%

(6) 職業別・性別献血状況

(単位:人)

	献血者数					男 性					女 性				
	200mL 献 血	400mL 献 血	成 分 献 血	計	比率	200mL 献 血	400mL 献 血	成 分 献 血	計	比率	200mL 献 血	400mL 献 血	成 分 献 血	計	比率
公 務 員	7	5,313	2,177	7,497	20.2%	0	4,391	2,037	6,428	23.8%	7	922	140	1,069	10.5%
会 社 員	69	12,759	6,842	19,670	53.0%	4	9,712	5,573	15,289	56.7%	65	3,047	1,269	4,381	43.1%
高 校 生	371	217	25	613	1.7%	69	145	7	221	0.8%	302	72	18	392	3.9%
大 学 生	92	651	287	1,030	2.8%	11	360	190	561	2.1%	81	291	97	469	4.6%
そ の 他	83	4,930	3,317	8,330	22.3%	6	2,616	1,861	4,483	16.6%	77	2,314	1,456	3,847	37.9%
計	622	23,870	12,648	37,140	100.0%	90	17,224	9,668	26,982	100.0%	532	6,646	2,980	10,158	100.0%

(7) 年度別輸血用血液製剤供給状況（県内）

ア 令和5年度 供給計画及び実績

（単位：本）

区 分	計 画	実 績	差 異	計画実績比
全 血 製 剤	0	0	0	0.0%
赤 血 球 製 剤	50,060	50,786	726	101.5%
血 漿 製 剤	12,980	13,401	421	103.2%
血 小 板 製 剤	79,390	66,245	△ 13,145	83.4%
合 計	142,430	130,432	△ 11,998	91.6%

（注）数値は200mL換算数である。

イ 令和5年度 供給実績前年度比較

（単位：本）

区 分	令和5年度実績	令和4年度実績	増 減	前年度比
全 血 製 剤	0	0	0	0.0%
赤 血 球 製 剤	50,786	52,297	△ 1,511	97.1%
血 漿 製 剤	13,401	13,738	△ 337	97.5%
血 小 板 製 剤	66,245	77,980	△ 11,735	85.0%
合 計	130,432	144,015	△ 13,583	90.6%

（注）数値は200mL換算数である。

1 3 乳 児 院 の 運 営

(秋田赤十字乳児院)

1 概 要

様々な事情により家庭で育てることが出来ない、0歳からの乳幼児をお預かりし、24時間体制で養育をしている児童福祉施設である。夜間等の緊急時における一時保護機能も有している。

主な入所理由は、ここ数年の傾向として虐待を受けた子どもたちの入所が多くなっており、全体の半数以上を被虐待児が占めている。他の入所理由としては、未婚や父母の病気等によるものとなっている。

すべての子どもたちは家庭的な環境のもと養育されることが心身の発達にとって重要であり、令和5年度に退所した措置児童14名のうち家庭復帰となった子どもは5名、里親家庭へ7名の子どもが委託された。

保護者の病気等により実親の元へ帰ることが出来ない子どもたちのために、里親制度の推進事業に力を注いでいる。令和2年度から秋田県より受託しているフォスティング機関（里親養育包括支援）では、里親制度普及促進事業として里親制度を広く知っていただくため、秋田公立美術大学と共同でポスター展を県内各地（23箇所 492日間（延べ日数））で開催した。

里親トレーニング事業は6組12名の里親を対象に実施し、里親支援専門相談員を中心に入所児童の里親委託を推進し、アフターケアとして家庭訪問やSNSを用いて継続的な支援を行っている。令和5年度の新規里親登録数は17組であった。

地域に必要とされる施設を目指し、子育て支援事業の充実をはじめ、中・高生等の体験学習、看護大生・保育士・栄養士等の実習生やボランティア等の受け入れも当院の特色と捉え推進している。

コロナ禍で活動を中止していた子育て支援事業（ショートステイ、デイケア、プレママサロン、育児サークル）を順次再開し、地域の子育て支援の一役を担っている。

国の推進する家庭的養育の推進を図るため、ばんび室の改修工事を実施し、風呂、トイレ、キッチン、玄関を設置して家庭的な養育環境を整備した。

2 利用状況

(令和6年3月31日現在)

(1) 入退所の状況

(単位：人)

入所人数				退所先及び退所人数				年度末 在所人数 (A-B)
区 分	前年度 からの 入所数	新 規 入所数	計 (A)	家 庭	里 親	施設 (当院を 含む)	計 (B)	
措 置	20	11	31	5	7	2	14	17
一時保護	1	17	18	13	0	1	14	4
計	21	28	49	18	7	3	28	21

(注) 一時保護から当院に措置となった児童数は5名である。但し、この人数は一時保護に含まない。

(2) 新規入所理由の状況

(単位：人)

区 分	虐待	父母の疾病	未婚	その他	計
措 置	3	3	1	4	11
一時保護	13	2	0	2	17
計	16	5	1	6	28

(注) 「その他」の内容：父母の就労、父母の貧困、父母の死亡

(3) 市町別在所状況

(単位：人)

秋田市	能代市	横手市	男鹿市	鹿角市	由利本荘市	潟上市	大仙市	仙北市	計
7	1	2	1	1	5	1	2	1	21

3 過去5年間の利用状況

(単位：人)

年度 内訳	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
前年度からの入所	30	25	18	18	21
入 所	12	27	24	24	28
退 所	17	34	23	21	28
年 度 末 人 数	25	18	19	21	21

(註) 一時保護児童数を含む。

4 子育て支援事業

事業名	利用状況等
電話相談 8:30-23:00	23件 内容：基本的生活習慣・発育発達・医学的問題・生活の環境・育児の方法
ショートステイ	8人
デ イ ケ ア	6人
プレママサロン	6組10人
育児サークル 「愛あいクラブ」	10人

5 主な年間行事

行事名	期 日	場 所	対 象 児
お 花 見	4月12日	広面近隣公園	16人
院 外 保 育	4月17日	千 秋 公 園	5人
こ だ も の 日	5月5日	院 内	全員
運 動 会	6月14日	院 内	全員
七夕の集い	7月7日	院 内	全員
院 外 保 育	7月27日	大森山動物園	4人
院 外 保 育	8月17日	大森山動物園	4人
院 外 保 育	8月18日	下浜海水浴場	8人
院 外 保 育	8月21日	木のおもちゃ美術館	7人
院 外 保 育	8月22日	児 童 会 館	5人
院 外 保 育	8月23日	空 港 等	7人
花 火	8月27日	院 庭	15人
お 月 見	9月29日	院 内	全員
花 火	10月11日	院 庭	14人
院 外 保 育	10月13日	リューク・ゲームセンター	9人
院 外 保 育	10月19日	ピノキオ公園	4人
ハロウィン	10月31日	院 内	全員
七五三お宮参り	11月15日	三 吉 神 社	4人
院 外 保 育	11月17日	イオンモール秋田	4人
七五三撮影会	11月24日	院 内	7人
クリスマス会	12月25日	院 内	全員
お 正 月	1月1日	院 内	全員
院 外 保 育	1月30日	三 吉 神 社	5人
節 分	2月3日	院 内	全員
ひ な 祭 り	3月1日	院 内	全員

6 ボランティアの受入れ

種別	受入れ状況
個人	4人 77回
団体	5団体(延人数115人)

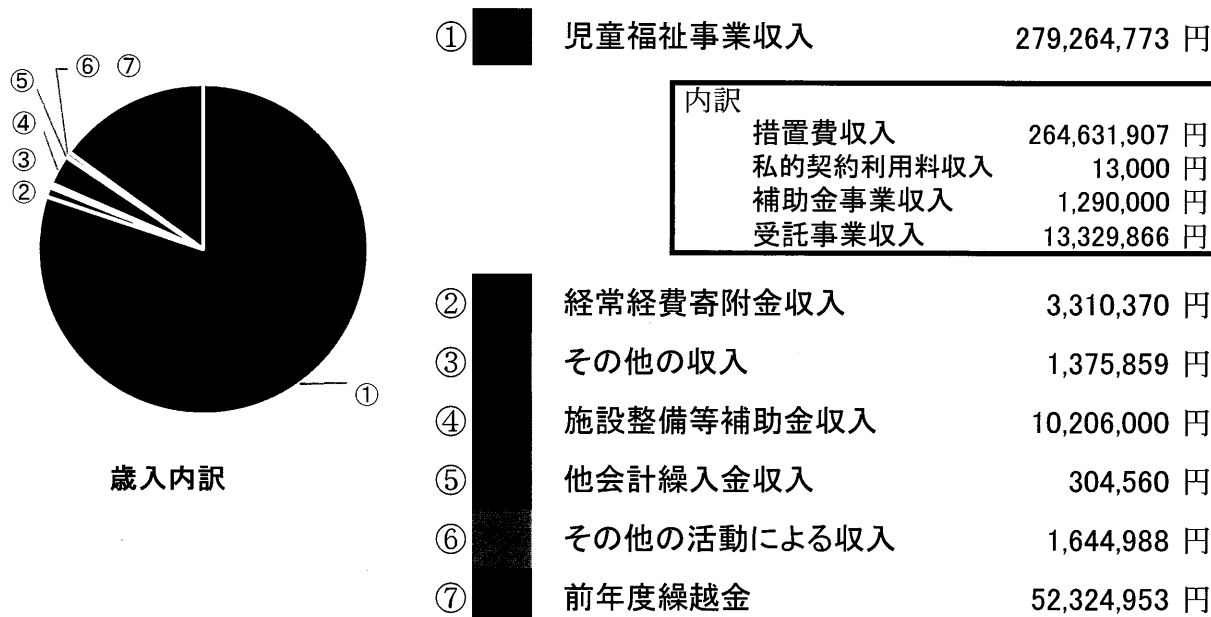
7 幼児安全法講習会の開催

開催日	受講者数 (人)	対 象
6月11日	16	一 般
6月11日	2	一 般
6月11日	2	一 般
10月29日	11	一 般
合 計	31	

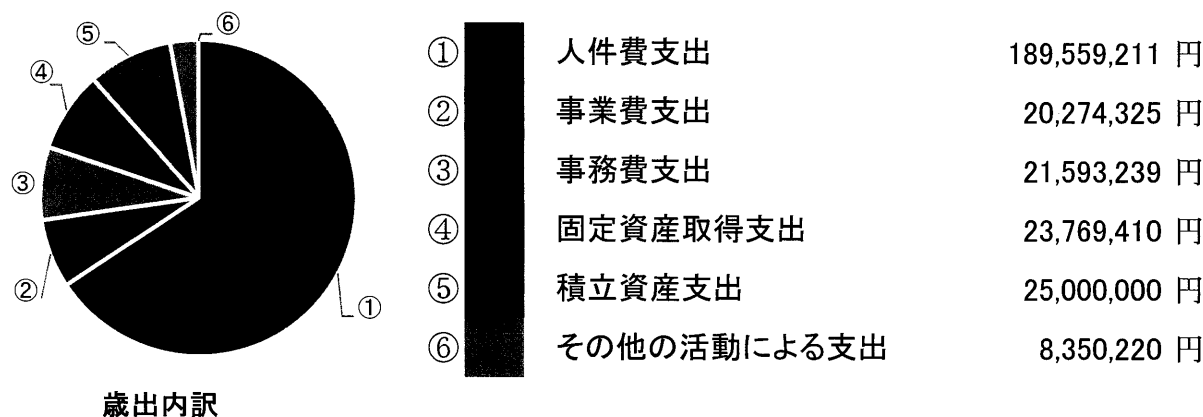
令和5年度秋田赤十字乳児院 歳入歳出決算概要

歳入額	348,431,503 円
歳出額	288,546,405 円
収支残	59,885,098 円

歳入 348,431,503円



歳出 288,546,405円



14 日本赤十字社秋田県支部現勢

(令和6年3月31日現在)

1 沿革

明治20年(1887)11月3日……日本赤十字社
秋田県委員部設立
明治29年(1896)7月1日……日本赤十字社
秋田支部に改称
昭和27年(1952)10月31日…日本赤十字社
秋田県支部に改称

2 会員数 (含:協力会員) 個人 149,925 人
法人 640 社

3 評議員 29 人

4 役員

支部長 佐竹 敬久
副支部長 神部 秀行・穂積 志
本社理事・代議員 野口 良孝
本社代議員 三戸 俊彦・江畑 佳明
高橋 トモ子
支部監査委員 新谷 明弘・伊藤 新

5 青少年赤十字

区 分	加盟登録数	メンバー数
幼保こども園	45 園	3,447 人
小 学 校	98 校	17,817 人
中 学 校	48 校	8,739 人
高等学校等	23 校	2,173 人
特別支援学校	8 校	665 人
計	222 園(校)	32,841 人

6 赤十字奉仕団

区 分	団 数	団員数
地 域	53 団	11,983 人
青年(学生)	6 団	115 人
特 殊	7 団	270 人
計	66 団	12,368 人

7 秋田県赤十字有功会員 個人 137 人
法人 66 社

8 講習等普及活動

区 分	講習回数	受講者数	指導員数
防災セミナー	41 回	1,258 人	37 人
救 急 法	143 回	3,752 人	81 人
健康生活支援	58 回	2,305 人	30 人
水上安全法	20 回	519 人	23 人
幼児安全法	30 回	477 人	31 人
雪上安全法	1 回	40 人	1 人
計	293 回	8,351 人	206 人

9 国際活動

- ・第一ブロック支部共同事業(資金援助)
- ・NHK海外たすけあいキャンペーン 他

10 災害救護

災害対策本部要員	23 人	
救 護 班 要 員	9 班	70 人
血液供給要員	3 人	
無線局(基地局含)	150MHz	33 局
	400MHz	24 局
救 護 車 両	6 台	
備蓄救援物資	毛 布	2,416 枚
	タオルケット	1,808 枚
	緊急セット	1,554 個
	安眠セット	1,204 個

11 医療事業(秋田赤十字病院)

総 病 床 数		480 床
内 訳	一般医療	344 床
	救命救急医療	50 床
	周産期医療	56 床
	神経病医療	30 床
入 院	136,121 人	
	1 日平均	371.9 人
外 来	180,222 人	
	1 日平均	741.7 人

12 血液事業(秋田県赤十字血液センター)

献血ルーム	2 施設(血液センター、アトリオン献血ルーム)	
移動採血車	3 台	
献血者数(延人数)	供給本数(200mL 献血由来換算)	
200mL 献血 622 人	赤血球製剤	50,786 本
400mL 献血 23,870 人	血 漿 製 剤	13,401 本
成分献血 12,648 人	血小板製剤	66,245 本
計 37,140 人	計	130,432 本

13 社会福祉施設(秋田赤十字乳児院)

定 員	30 人
年度末在所児童数	21 人

14 職員数(嘱託・臨時職員等は除く、令和6年4月1日現在)

日本赤十字社秋田県支部	8 人
秋田赤十字病院	767 人
秋田県赤十字血液センター	44 人
秋田赤十字乳児院	19 人
計	838 人

15 会計(令和6年度当初予算)

支 部	182,174 千円	
病 院	収益の収入	16,300,866 千円
	収益の支出	16,654,375 千円
乳 児 院	歳 入	355,228 千円
	歳 出	285,451 千円

日本赤十字社秋田県支部

〒010-0922 秋田市旭北栄町1番5号
TEL 018 (864) 2731 FAX 018 (864) 6852
URL <https://www.jrc.or.jp/chapter/akita/>

秋田県赤十字血液センター

献血パークるうぷ

〒010-0941 秋田市川尻町字大川反233番186号
TEL 018 (865) 5541 FAX 018 (865) 5585
URL <https://www.bs.jrc.or.jp/th/akita/>

秋田赤十字病院

〒010-1495 秋田市上北手猿田字苗代沢222-1
TEL 018 (829) 5000 FAX 018 (829) 5255
URL <http://www.akita-med.jrc.or.jp/>

アトリオン献血ルーム

〒010-0001 秋田市中通二丁目3番8号
(アトリオン1階)
TEL 018 (836) 7811 FAX 018 (836) 7812

附属あきた健康管理センター

〒010-0001 秋田市中通三丁目4番23号
TEL 018 (832) 1601 FAX 018 (832) 1603

秋田赤十字乳児院

〒010-0041 秋田市広面字釣瓶町100番地3
TEL 018 (884) 1760 FAX 018 (884) 1762
URL <http://www.akita-nyuji.jrc.or.jp/>

<案 内 図>

